

令和8年度

中学部
年間指導計画
(シラバス)

沖縄県立八重山特別支援学校

令和8年度 中学部 1～3年（Ⅱ課程A-1） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4／140		當銘由美	「国語☆☆☆☆」（文部科学省）／ 「はじめての国語辞典」（小学館） 「くもんの小学ドリル」（くもん出版） 「しまくとぅば読本 中学生」（沖縄県） 各種絵本、動画、画像、新聞ほか

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。 (思判表力) 日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	52	(知及技) 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書く。 (知及技) 基本的なはがきの書き方を知る。 (思判表力) 作品を読んだり観たりして分かったことを表現し、感想を持つ。 (思判表力) 話す事柄を決め、5W1Hを意識して内容の大体が伝わるように話す。 (学・人) 自分の気持ちを表現する良さに気づき、自分の思いを伝えようとする態度を養う。	(知・技) 正しい姿勢や筆記用具の持ち方を身に付け、文字の形に注意しながら、丁寧に書くことができる。 (知・技) 基本的なはがきの書き方を身に付けている。 (思・判・表) 作品を読んだり観たりして分かったことを表現し、感想を持つ。 (思・判・表) 話す事柄を決め、5W1Hを意識して内容の大体が伝わるように話している。 (主学) 自分の気持ちを表現する良さに気づき、自分の思いを伝えようとしている。	・授業オリエンテーション ・自己紹介をしよう ・書写（硬筆） ・平和学習～6.23慰霊の日～ ・暑中見舞いを書こう	・書いた内容をみんなの前で発表することができる。 ・授業のルールやマナーを知る。読む、書く、聞く、話すことについての自分の目標を立てる。 ・友達や先生の名前を書いたり、教科書やホワイトボードの字をノートに視写したりする。字を書く際の正しい姿勢を身に付ける。 ・作品を読んだり観たりして分かったことをみんなの前で発表することができる。 ・絵本や新聞記事を通して、慰霊の日について学習し、ワークシートにまとめる。 ・基本的なはがきの書き方を学ぶ。
2 学期	60	(知及技) 読書の良さに気づき、標語にまとめる。 (知及技) 昔話や童歌を通して、方言の響きやリズムに親しむ。 (知及技)姿勢や用具の用い方を正しくし、筆使いに注意しながら、丁寧に書く。 (思判表力) 文章に対する感想を持ち、文の構成、語句の使い方に気を付けて書く。 (学・人) 物語に興味を持ち、自分で読んだり気に入った文を覚えたりすることができる。	(知・技) 読書の良さに気づき、標語にまとめている。 (知・技) 昔話や童歌を通して、方言の響きやリズムに親しんでいる。 (知・技)正しい姿勢や用具の用い方を身に付け、筆使いに注意しながら、丁寧に書くことができる。 (思・判・表) 文章に対する感想を持ち、文の構成、語句の使い方に気を付けて書いている。 (学・人) 読み聞かせに参加し、担当するセリフを覚えようとしている。	・夏休みを振り返ろう ・読書を楽しもう ・読書標語を作ろう ・方言に親しむ ・書写（毛筆）「永字八法」	・夏休みの課題（日記）を読み返し、夏休みの思い出を発表する。 ・絵本を一冊選び、生徒が読み聞かせをする。 ・五七五のリズムで読書標語を作る。 ・昔話や童歌を通して、方言に親しむ。 ・毛筆の用具の名前や用具の使い方を知る。基本的な筆使いを身に付ける。
3 学期	28	(知及技) 基本的な年賀状の書き方を知る。 (知・技)ローマ字の決まりを知り、ローマ字入力する。 (思判表力) 書いた文字を読み返し、間違いを正すことができる。 (学・人)お世話になった人を思い浮かべ、感謝の気持ちを言葉で表現する。	(知・技) 基本的な年賀状の書き方を身に付けている。 (知・技)ローマ字の決まりを知り、ローマ字入力できる。 (思・判・表) 書いた文字を読み返し、間違いを正している。 (主学)お世話になった人を思い浮かべ、感謝の気持ちを言葉で表現しようとしている。	・年賀状を書こう ・感謝の気持ちを表そう ・ローマ字の学習	・基本的な年始の挨拶、十二支や月の異名について知る。 ・お世話になった先輩や先生に、感謝の気持ちを綴る。 ・ローマ字の決まりを理解し、パソコンやタブレットにローマ字入力をする。
通 年		(知及技)明瞭な発声・発音を身に付ける。 (知及技)語のまとまりに気を付けて音読する。 (知及技)日常的に使用する漢字を読む。 (思判表力) 様々な作品を観たり読んだりして、内容の大体を捉える。 (学・人) 伝えたいことを決め、相手に伝えようとする態度を養う。	(知・技)明瞭な発声・発音を身に付けている。 (知・技)語のまとまりに気を付けて音読している。 (知・技)日常的に使用する漢字を読むことができる。 (思・判・表) 様々な文章を読み、内容の大体を捉えている。 (主学) 伝えたいことを決め、相手に伝えようとしている。	・声のエクササイズ（発声） ・音読（季節の詩） ・作品読解（物語・説明文）	・正しい姿勢や口形に気を付けて発声する。 ・月ごとの詩を音読、朗読する。 ・個々の習得度に合わせて、小学校1～6年の漢字の読みテストに取り組む。 ・簡単な文章を読み（読み聞かせ、一斉読み、黙読）、登場人物やできごとや話題の順序、内容の理解を確かめる。

留意点 引継ぎ等	<ul style="list-style-type: none">・始業の挨拶時に、着席の姿勢や学習道具の準備が整っていることを確認し、学習に向かう気持ちを整えさせる。・季節行事や学校行事などの身近な話題を挙げ、学習内容との関係性を示しながら、学習への関心・意欲を高めさせる。・予め学習目標と活動の流れ、本時の着地点を示すことで、学習活動に見通しを持たせる。・学習内容と関わりのある絵本や詩などを、読み聞かせたり、一斉音読したりして、学習への意欲・関心を高めさせる。・体を動かしたり、声を出したりする言葉遊び・ゲーム・発声練習を取り入れ、学習活動にメリハリをつける。・活動の進捗に合わせて、個別の支援や発展的な課題の提示を行う。・既習の漢字の復習・定着のために日々の学習に取り組みさせる。・学習課題に応じて、適宜ICT機器を活用する。
-------------	---

令和8年度 中学部 1～3年（Ⅱ課程A-2） 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4 / 140		當銘由美	「国語☆☆☆」（文部科学省）／ 「ことばえてん」（角川学芸出版） 「くもんの小学ドリル」（くもん出版） 「しまくとぅば読本 中学生」（沖縄県） 各種絵本、動画、画像、新聞ほか

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。 (思判表力) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	52	(知及技) 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書く。 (知及技) 基本的なはがきの書き方を知る。 (思判表力) 作品を読んだり観たりして分かったことを表現し、感想を持つ。 (思判表力) 「いつ・だれが・どこで・なにを」4Wを意識して内容の大体が伝わるように話す。 (学・人) 自分の気持ちを表現する良さに気づき、自分の思いを伝えようとする態度を養う。	(知・技) 正しい姿勢や筆記用具の持ち方を身に付け、文字の形に注意しながら、丁寧に書くことができる。 (知・技) 基本的なはがきの書き方を身に付けている。 (思・判・表) 作品を読んだり観たりして分かったことを表現し、感想を持つ。 (思・判・表) 話す事柄を決め、4Wを意識して内容の大体が伝わるように話している。 (主学) 自分の気持ちを表現する良さに気づき、自分の思いを伝えようとしている。	・授業オリエンテーション ・自己紹介をしよう ・書写（硬筆） ・平和学習～6.23慰霊の日～ ・暑中見舞いを書こう	・書いた内容をみんなの前で発表することができる。 ・授業のルールやマナーを知る。読む、書く、聞く、話すことについての自分の目標を立てる。 ・友達や先生の名前を書いたり、教科書やホワイトボードの字をノートに視写したりする。字を書く際の正しい姿勢を身に付ける。 ・作品を読んだり観たりして分かったことをみんなの前で発表することができる。 ・絵本や新聞記事を通して、慰霊の日について学習し、ワークシートにまとめる。 ・基本的なはがきの書き方を学ぶ。
2 学期	60	(知及技) 読書の良さに気づき、標語にまとめる。 (知及技) 昔話や童歌を通して、方言の響きやリズムに親しむ。 (知及技)姿勢や用具の用い方を正しくし、筆使いに注意しながら、丁寧に書く。 (思判表力) 文章に対する感想を持ち、文の構成、語句の使い方に気を付けて書く。 (学・人) 物語に興味を持ち、自分で読んだり気に入った文を覚えたりすることができる。	(知・技) 読書の良さに気づき、標語にまとめている。 (知・技) 昔話や童歌を通して、方言の響きやリズムに親しんでいる。 (知・技)正しい姿勢や用具の用い方を身に付け、筆使いに注意しながら、丁寧に書くことができる。 (思・判・表) 文章に対する感想を持ち、文の構成、語句の使い方に気を付けて書いている。 (学・人) 読み聞かせに参加し、担当するセリフを覚えようとしている。	・夏休みを振り返ろう ・読書を楽しもう ・読書標語を作ろう ・方言に親しむ ・書写（毛筆）「永字八法」	・夏休みの課題（日記）を読み返し、夏休みの思い出を発表する。 ・本を一冊選び、紹介することができる。 ・五七五のリズムで読書標語を作る。 ・昔話や童歌を通して、方言に親しむ。 ・毛筆の用具の名前や用具の使い方を知る。基本的な筆使いを身に付ける。
3 学期	28	(知及技) 基本的な年賀状の書き方を知る。 (知及技)ローマ字の決まりを知り、ローマ字入力する。 (思判表力) 書いた文字を読み返し、間違いを正すことができる。 (学・人)お世話になった人を思い浮かべ、感謝の気持ちを言葉で表現する。	(知・技) 基本的な年賀状の書き方を身に付けている。 (知・技)ローマ字の決まりを知り、ローマ字入力できる。 (思・判・表) 書いた文字を読み返し、間違いを正している。 (主学)お世話になった人を思い浮かべ、感謝の気持ちを言葉で表現しようとしている。	・年賀状を書こう ・感謝の気持ちを表そう ・ローマ字の学習	・基本的な年始の挨拶、十二支や月の異名について知る。 ・お世話になった先輩や先生に、感謝の気持ちを綴る。 ・ローマ字の決まりを理解し、パソコンやタブレットにローマ字入力をする。
通 年		(知及技)明瞭な発声・発音を身に付ける。 (知及技)語のまとまりに気を付けて音読する。 (知及技)日常的に使用する漢字を読む。 (思判表力) 様々な作品を観たり読んだりして、内容の大体を捉える。 (学・人) 伝えたいことを決め、相手に伝えようとする態度を養う。	(知・技)明瞭な発声・発音を身に付けている。 (知・技)語のまとまりに気を付けて音読している。 (知・技)日常的に使用する漢字を読むことができる。 (思・判・表) 様々な文章を読み、内容の大体を捉えている。 (主学) 伝えたいことを決め、相手に伝えようとしている。	・あいうえおのうた/声のエクササイズ（発声） ・音読（季節の詩） ・作品読解（物語・説明文）	・正しい姿勢や口形に気を付けて発声する。 ・月ごとの詩を音読、朗読する。 ・個々の習得度に合わせて、小学校1～3年の漢字の読みテストに取り組む。 ・簡単な文章を読み（読み聞かせ、一斉読み、黙読）、登場人物やできごとや話題の順序、内容の理解を確かめる。

留意点 引継ぎ等	<ul style="list-style-type: none">・始業の挨拶時に、着席の姿勢や学習道具の準備が整っていることを確認し、学習に向かう気持ちを整えさせる。・季節行事や学校行事などの身近な話題を挙げ、学習内容との関係性を示しながら、学習への関心・意欲を高めさせる。・予め学習目標と活動の流れ、本時の着地点を示すことで、学習活動に見通しを持たせる。・学習内容と関わりのある絵本や詩などを、読み聞かせたり、一斉音読したりして、学習への意欲・関心を高めさせる。・体を動かしたり、声を出したりする言葉遊び・ゲーム・発声練習を取り入れ、学習活動にメリハリをつける。・活動の進捗に合わせて、個別の支援や発展的な課題の提示を行う。・既習の漢字の復習・定着のために日々の学習に取り組みさせる。・学習課題に応じて、適宜ICT機器を活用する。
-------------	---

令和8年度 中学部 1～3年（Ⅱ課程B） 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70		當銘由美	絵本・動画・画像・プリント

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じる。 ・言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりする。 (思判表力) ・身近な人からの話し掛けに注目する。 ・教師と一緒に絵本などを見て身近な事物に気付き注目する。 (学・人) ・日常生活の人との関わりの中で、言葉の持つ楽しさを味わっている。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) ・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じる。 (知及技) ・自分の名前が呼ばれたことが分かり、声のする方向を見たり、手を挙げたり、意図を持って声を出したりする。 (知及技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れる。 (知及技) 読み聞かせや手遊び歌を通して、言葉のもつ楽しさに触れる。	(知・技) ・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じている。 (知・技) ・自分の名前が呼ばれたことが分かり、声のする方向を見たり、手を挙げたり、意図を持って声を出したりしている。 (知・技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりしている。 (知・技) 読み聞かせや手遊び歌を通して、言葉のもつ楽しさに触れている。	・出席確認 ・手遊び歌 ・読み聞かせ ・季節の制作	・歌「始まりのうた」にのせて授業開始の号令をかけ雰囲気作りをする。 ・呼名・出席確認の際にカードを使い発語に加え文字によることばの学習を行う。 ・手遊び歌を聴き、教師と一緒に動きを模倣する。 ・季節の行事や地域の伝統について、読み聞かせを聴いたり、動画を視聴したりする。 ・季節の制作を通して、様々な筆記具に触れる。
2 学期	30	(思判表力) 身近な人からの話し掛けに注目して、応じて答えたりする。 (思判表力) 絵本や動画などを観て、示された身近な事物や生き物に気付き、注目する。 (思・判・表) 教師や絵本、動画に出てくる登場人物の動きを模倣する。	(思・判・表) 身近な人からの話し掛けに注目して、応じて答えたりしている。 (思・判・表) 絵本や動画などを観て、示された身近な事物や生き物に気付き、注目している。 (思・判・表) 教師や絵本、動画に出てくる登場人物の動きを模倣している。		
3 学期	14	(学・人) 特定の人の声や音、音楽などを聴き、反応や表情で快情動を伝える。 (学・人) 読み聞かせや手遊び歌の繰り返しの表現で流れを理解し、反応や表情で期待感を示そうとしている。	(主学) 特定の人の声や音、音楽などを聴き、反応や表情で快情動を伝えようとしている。 (主学) 読み聞かせや手遊び歌の繰り返しの表現で流れを理解し、反応や表情で期待感を示そうとしている。		
留意点 引継ぎ等		・リラックスできるよう教室環境を設定する。 ・安全に活動できるよう座席配置や教師の配置を工夫する。 ・始業の挨拶時に、学習に向かう気持ちを整えさせるよう始まりの歌を仕組む。 ・感覚（視覚・聴覚・触覚）に訴える活動を仕組む。・動画や絵カード、挿絵をみて場面を思い描きやすいように支援する。 ・他者（生徒・教師）との関わり合いが生まれるような活動を仕組む。 ・定期的に図書室を利用し、様々な種類の本に触れる機会を持てるようにする。			

令和8年度 中学部1～3年（Ⅱ課程Aグループ） 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70			社会☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 地域や我が国の地理的環境について、身近なできごとや体験を通して理解できるようにする。 (思判表力) 社会的事象について、自分の生活と結びつけて具体的に考え、表現できるようにする。 (学・人) 社会に主体的に関わることを学び、地域社会の一員として生きていく自覚を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) 社会科の授業のきまりやルールを理解する。 (思判表力) 防災や沖縄戦、地域の行事について調べ、自分の生活と結びつけて考える。 (学・人) 地域や歴史に関心を持ち、平和や地域社会に主体的に関ることができる。	(知・技) 授業のルールや沖縄戦、地域の行事についての基本的な情報を理解している。 (思・判・表) 学んだことをもとに、自分の考えをもとうとしている。 (主学) 学習や話し合いに参加しようとする姿勢が見られる。	・授業のきまりをまもろう ・身近なマーク ・沖縄戦について学ぼう ・地域の行事について知ろう	・授業の約束やきまりを確認し、社会科の学び方に慣れる。 ・沖縄戦の資料や映像から、戦争と平和について考える。 ・地域の夏祭りや行事を取り上げ、地域と自分のつながりに気付く。 ・手話や視覚教材（図、写真、動画、タブレット端末活用等）を使用して授業内容の説明や学習をサポートする。 ・生徒の反応に合わせて、立体地図や触れる教材を使って、地域の特徴や感覚的な学び（視覚、聴覚、触覚、音や香り）を組み合わせた学習を行う。 ・SDGsに関連付けて学ぶ。
2学期	30	(知及技) 公共施設や日本各地の地理・特産物に関する基本的な知識を身に付ける。 (思判表力) 社会のしくみや地域の特色を調べ、自分の暮らしと結びつけて考える。 (学・人) 社会の一員としての役割を考え、公共性や地域性を大切にすることができる。	(知・技) 公共施設のはたらきや日本各地の特産物などに関する情報を理解している。 (思・判・表) 公共施設や都道府県について自分の視点で考え、表現しようとしている。 (主学) 社会のしくみや地域への興味をもち、学習に積極的に参加しようとしている。	・公共施設の役割を知ろう ・日本の都道府県について ・日本の特産物を調べよう ・工場見学に行こう	・役所や警察、救急などの公共施設の役割を学び、職員になりきって活動する。 ・日本の47都道府県の場所・特徴・シンボルなどを学ぶ。 ・各地の特産品を調べ、地図やカードで整理・発表する。 ・地域の工場や施設を見学し、働く人の仕事や工場の役割について学ぶ。 ・手話や視覚教材（図、写真、動画、タブレット端末活用等）を使用して授業内容の説明や学習をサポートする。 ・生徒の反応に合わせて、立体地図や触れる教材を使って、地域の特徴や感覚的な学び（視覚、聴覚、触覚、音や香り）を組み合わせた学習を行う。 ・SDGsに関連付けて学ぶ。
3学期	14	(知及技) 世界の国々や文化の違い、日本とのつながりについての基本的な知識を身に付ける。 (思判表力) 学習したことをもとに、自分と社会の関係を多面的に考える。 (学・人) 多様な文化を尊重し、自分の意見や学びを他者と共有しようとする態度を育てる。	(知・技) 世界の国々やこれまで学習した内容について理解している。 (思・判・表) 異文化や社会との関わりについて自分の視点で考え、伝えようとしている。 (主学) 自分の学びに関心を持ち、意欲的に振り返りや発表に取り組もうとしている。	・世界の国について知ろう ・一年間の学びを振り返ろう	・世界の国々の暮らしや文化を調べ、日本との違いやつながりに気づく。 ・一年間で学んだ地域・社会・文化について振り返り、自分の感じたことをまとめて発表する。 ・手話や視覚教材（図、写真、動画、タブレット端末活用等）を使用して授業内容の説明や学習をサポートする。 ・生徒の反応に合わせて、立体地図や触れる教材を使って、地域の特徴や感覚的な学び（視覚、聴覚、触覚、音や香り）を組み合わせた学習を行う。 ・SDGsに関連付けて学ぶ。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部1～3年（Ⅱ課程Bグループ） 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70			社会☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)地域や我が国の様子について、身近な出来事や体験を通して知ることができる。 (思判表力)社会の出来事について、教師と一緒に自分の生活と結びつけて考えたり、感じたことを表したりすることができる。 (学・人)地域や社会の出来事に関心を持ち、学習活動に参加することができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) 社会科の授業のきまりや地域の出来事について知ることができる。 (思判表力) 防災や沖縄戦、地域の行事について教師と一緒に考えることができる。 (学・人) 地域や社会の出来事に関心を持ち、学習に参加することができる。	(知・技) 授業のきまりや地域の出来事について知ろうとしている。 (思・判・表) 沖縄戦や地域の行事について教師と一緒に考えようとしている。 (主学) 学習や話し合いに参加しようとしている。	・授業のきまりをまもろう ・身近なマーク ・沖縄戦について学ぼう ・地域の行事について知ろう	・授業の約束やきまりを確認し、社会科の学び方に慣れる。 ・沖縄戦の資料や映像から、戦争と平和について考える。 ・地域の夏祭りや行事を取り上げ、地域と自分のつながりに気付く。 ・手話や視覚教材（図、写真、動画、タブレット端末活用等）を使用して授業内容の説明や学習をサポートする。 ・生徒の反応に合わせて、立体地図や触れる教材を使って、地域の特徴や感覚的な学び（視覚、聴覚、触覚、音や香り）を組み合わせた学習を行う。 ・SDGsに関連付けて学ぶ。
2学期	30	(知及技) 公共施設や日本の地域の特徴について知ることができる。 (思判表力) 公共施設の働きや地域の特産物について教師と一緒に考えることができる。 (学・人) 社会のしくみや地域に関心を持ち、学習に参加することができる。	(知・技) 公共施設の働きや日本の地域の特徴について知ろうとしている。 (思・判・表) 公共施設や地域の特産物について教師と一緒に考えようとしている。 (主学) 学習活動に参加しようとしている。	・公共施設の役割を知ろう ・日本の都道府県について学ぼう ・日本の特産物を調べよう ・工場見学に行こう	・役所や警察、救急などの公共施設の役割を学び、職員になりきって活動する。 ・日本の47都道府県の場所・特徴・シンボルなどを学ぶ。 ・各地の特産品を調べ、地図やカードで整理・発表する。 ・地域の工場や施設を見学し、働く人の仕事や工場の役割について学ぶ。 ・手話や視覚教材（図、写真、動画、タブレット端末活用等）を使用して授業内容の説明や学習をサポートする。 ・生徒の反応に合わせて、立体地図や触れる教材を使って、地域の特徴や感覚的な学び（視覚、聴覚、触覚、音や香り）を組み合わせた学習を行う。 ・SDGsに関連付けて学ぶ。
3学期	14	(知及技) 世界の国や文化について知ることができる。 (思判表力) 世界の国の暮らしや文化について教師と一緒に考えることができる。 (学・人) 様々な国や文化に関心を持ち、学習に参加することができる。	(知・技) 世界の国や文化について知ろうとしている。 (思・判・表) 世界の国の暮らしや文化について教師と一緒に考えようとしている。 (主学) 学習活動や発表に参加しようとしている。	・世界の国について知ろう ・一年間の学びを振り返ろう	・世界の国々の暮らしや文化を調べ、日本との違いやつながりに気づく。 ・一年間で学んだ地域・社会・文化について振り返り、自分の感じたことをまとめて発表する。 ・手話や視覚教材（図、写真、動画、タブレット端末活用等）を使用して授業内容の説明や学習をサポートする。 ・生徒の反応に合わせて、立体地図や触れる教材を使って、地域の特徴や感覚的な学び（視覚、聴覚、触覚、音や香り）を組み合わせた学習を行う。 ・SDGsに関連付けて学ぶ。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部 1～3年（Ⅱ課程Aグループ）数学科 年間指導計画

単位数 / 相当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4 / 140		金城翔太	数学 ☆☆☆～☆☆☆☆☆ [特別支援学校中学部知的障害者用 (文部科学省著作教科書 中学部数学科)]

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質を理解し処理することができる。 (思判表力) 日常の事象を数学的に考え、数学的な表現を用いて発表できる。 (学・人) 数学的活動の楽しさに気づき、数学で学んだことを生活や学習に活用できる。
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	39	(知及技) 1000までの数をいくつかの同じまとまりに分割したうえで数えたり、分類して数えたりすることができる。3位数の数系列、順序、大小について、数直線上の目盛りを読んで理解したり、数を表したりすることができる。 (思判表力) 数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。 (知・技) 重さの単位 [グラム (g) キログラム (kg)] が分かり測定でグラム (g) を使うことができる。 (思判表) 数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考えることができる。 (学・人) 表やグラフから数量の大小や多少を読み取り、データから読み取れることを話し合うことができる。	(知・技) 1000までの数をいくつかの同じまとまりに分割したうえで数えたり、分類して数えたりしようとしている。 (思・判・表) 数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かそうとしている。 (主学) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。 (知・技) 体重や物の重さを表す単位がグラム (g) と分かり、グラム (g) を用いて測定している。 (思判表) 10のまとまり、100のまとまりなど、学習したことを生かして1000のまとまりに気づき表現している。 (主学) 数量の大小や多少に気づき、その理由を考え話し合うことができる。	C測定 ア 量の単位と測定 A数と計算 ア 整数の表し方 Dデータの活用 ア 身の回りにあるデータから簡単な表やグラフで表したり、読み取ったりすること	・ 2位数のたし算①：繰り上がりのない2位数の加法計算の仕方を考えたり、加法の筆算の仕方を理解する。 ・ 2位数のたし算②：一の位から十の位への繰り上がりのあるたし算の筆算の仕方を理解する。 ・ 2位数のたし算③：十の位から百の位への繰り上がりのあるたし算の筆算の仕方を理解する。 ・ 2位数のひき算①：繰り下がりがあるひき算 (2位数－1位数) の仕方を理解する。 ・ 2位数のひき算②：繰り下がりがないひき算 (2位数－2位数) の筆算の仕方を理解する。 ・ 2位数のひき算③：十の位から一の位への繰り下がりがあるひき算の筆算の仕方を理解する。 ・ 重さを比べよう！ ・ 1000より大きい数を数えよう！ ・ グラフを読み取り話し合おう！
		(知及技) 2位数の加法及び減法について理解し、その計算ができる。また、それらの筆算の仕方について知ることができる。 (思判表力) 数量の関係に着目し、数を適用する範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かすことができる。 (学・人) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。 (知・技) 正方形、長方形、直角三角形の特徴(辺と頂点、直角)を知り、違いや共通点に気付く。 (思判表) 数のまとまりに着目し、思考する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かすことができる。 (学・人) 測りたいものや場所を決め、目的に適した単位で量の大きさを測定することができる。	(知・技) 2位数の加法及び減法について理解し、その計算ができる。また、それらの筆算の仕方について知ろうとしている。 (思・判・表) 数量の関係に着目し、数を適用する範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かそうとしている。 (主学) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。 (知・技) 「辺・頂点の数」を調べたり、「直角カード」を補助具として確認したりしている。 (思判表) 一つの金額を、使う硬貨を変えながら、いろいろな揃え方をしている。 (主学) ペアで測りたいものや場所を決め、適した単位を選択し測定している。	B図形 ア 図形 A数と計算 ア 整数の表し方 C測定 ア 量の単位と測定	・ 同じ形に分けよう！ ・ お金を揃えてみよう！ ・ いろいろな長さを測ろう！
2 学期	45	(知及技) 計算機を使って、具体的な生活場面における簡単な加法及び減法の計算ができる。 (思判表力) 数量関係に着目し、数を適用する範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かすことができる。 (学・人) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。 (知・技) コンパスを使って正三角形や二等辺三角形を作図できる。 (思判表) 伴って変わる二つの量の表からきまりを見つけ、表の空欄を埋めることができる。 (学・人) 面積の意味が分かり、いろいろな四角形の大きさを比べることができる。	(知・技) 計算機を使って、具体的な生活場面における簡単な加法及び減法の計算がしようとしている。 (思・判・表) 数量関係に着目し、数を適用する範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かそうとしている。 (主学) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。 (知・技) コンパスの特性を利用して、正三角形や二等辺三角形を描いている。 (思判表) 表を横に見たり、縦に見たりして、きまりを見つけ、表の空欄を埋めている。 (主学) 方眼紙に好きな四角形を描き、グループの人とマス目の数に着目して大きさを比べることができる。	B図形 ア 図形 C変化と関係 ア 伴って変わる二つの量 B図形 イ 面積	・ コンパスを使おう！ ・ 変わり方のきまりを見つけよう！ ・ 大きさを比べよう！
		※時刻やカレンダーワーク(暦)は、毎週の授業で行う。 ※2学期、3学期の買い物学習に合わせて、お金(硬貨の種類等)の指導を行う。 ※生徒の実態に応じた教材作成を行う。			
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部 1～3年（Ⅱ課程B）数学科 年間指導計画

単位数 ／ 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70		金城翔太	さんすう ☆☆☆ [特別支援学校中学部知的障害者用 (文部科学省著作教科書 小学部算数科)]

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質を理解し処理することができる。 (思判表力)日常の事象を数学的に考え、数学的な表現を用いて発表できる。 (学・人)数学的活動の楽しさに気づき、数学で学んだことを生活や学習に活用できる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	28	(知及技) 観点に基づいて仲間集めをしたり、1対1対応によって物の個数の多少を比べたりすることができる。 (思判表力)物の個数の多少の比べ方を工夫することができる。	(知・技) 仲間集めをするときの観点を理解している。 (主学)示された観点や自分で決めた観点をもとに、仲間集めをしようとしている。	ななかまつめ	◎示された観点や自分で決めた観点到合わせて仲間集めをし、名前を付ける。 ◎観点を替えて、別の仲間集めをする。
		(学・人)仲間集めや多少比較に親しみ、そのたのしさを感しながら学ぼうとする。	(知・技) 1対1対応によって物の集まりの要素の個数が比較できることを理解し、直接比較をすることができる。 (思・判・表)物の個数の多少を工夫して比べている。	くらべよう	◎物の個数の多少を、比べる対象どうしを線で結ぶ1対1対応によって比較する。 ◎直接比較しにくい物の個数の多少を、操作しやすい物に置き換えて、1対1対応によって比較する。
2 学期	30	(知及技) 10までの数の数え方、数字の書き方、読み方、数の順序、系列や大小について理解し、10までの数について数えたり、数字を読んだり書いたり、物の個数を比べたりすることができる。 (思判表力)身の回りの物を、色や形などを捨象して個数に着目して捉え、数の大きさや比べ方をブロックや絵などを用いて表すことができる。	(知・技) 1から5までの数の唱え方や、数字の読み方を理解している。 (思・判・表)身の回りの物を、色や形などを捨象して個数に着目して捉えている。	5までのかず	◎1から5までの数を唱えたり、数えたり、数字を読んだりする。
		(学・人)数に親しみ、身の回りの物を数字で表すなど、数字の書き方、読み方を生活や学習に生かそうとする。	(知・技) 6から10までの数の唱え方や数え方、数字の読み方を理解している。 (思・判・表)身の回りの物を、色や形などを捨象して個数に着目して捉えている。	10までのかず	◎6から10までの数を唱えたり、数えたり、数字を読んだりする。
3 学期	12	(学・人)数に親しみ、身の回りの物を数字で表すなど、数字の書き方、読み方を生活や学習に生かそうとする。	(思・判・表)身の回りの物の個数について説明している。 (主学)身の回りにあるいろいろな物の個数を数えようとしている。	かずをさがそう	◎10までの数を用いて身の回りにある物の個数を数える。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部 1・2・3年（Ⅱ課程Aグループ） 理科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35		本原 香代子	教科書：理科(☆4、☆5) 文部科学省出版

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力) 思考力、判断力、表現力等 (学・人) 学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表) 思考・判断・表現 (主学) 主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 実験の流れを知り、観察のしかたを身に付けることができる。 (思判表力) 身の回りの生物や植物の様子に関心を持ち、予想や仮説を立て発表することができる。 (学・人) 自然事象に気づき、体験的に学んだことを日常生活で積極的に利用することができる。
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 身近な植物を観察することができる。 (思判表力) 植物の葉や花の形、色について着目し比較したり、違いについて考えることができる。 (学・人) 植物に関心を持ち、観察したり、共通点や違いについて考えることができる。	(知・技) 植物の葉や花の形、色の違いを理解するとともに、器具などを正しく扱って観察や採集を行い、結果をわかりやすく記録することができる。 (思・判・表) 植物の差異点や共通点をもとに問題を見だし、表現する。 (主学) 身の回りの植物についてすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとするとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとすることができる。	・自然の観察	・校内にある植物を観察しよう！ ・植物の名前をおぼえよう！ ・植物には色、形、大きさなど、姿の違いを見つけよう！
	8	(知及技) 太陽と地面の様子との関係について、影と太陽の位置関係や地面のあたためられ方についての理解や観察に関する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日なたと日かげの様子に着目して、それらを比較しながら調べる活動を通して追究する中で差異点や共通点をもとに問題を見いだし表現する。 (学・人) 太陽と地面の様子を観察を通して、日常生活での事象に繋げようとする。	(知・技) 器具を正しく扱いながら、影の向きと太陽の向きを確かめ、その結果をわかりやすく記録することができる。 (思・判・表) 影ができる向きについて、差異点や共通点をもとに問題を見いだし、表現することができる。 (主学) 身のまわりで見られる事象をもとに、影の向きについて興味をもち、他者と関わりながら、すすんで問題を解決しようとする。	・地面の様子と太陽 [1] 影のでき方と太陽の位置 [2] 日なたと日かげの地面の様子 [3] 太陽の進み方 [4] 日光を当てたところの明るさとあたかさ	・影と太陽 ・日なたと日かげ ・温度を計ろう ・光を集めよう
2 学期	7	(知及技) 身近な植物を育て、観察に関する理解や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 成長の過程に着目し、育ち方について比較しながら調べ差異点や共通点をもとに問題を見いだし表現する。 (学・人) 植物の生育観察を通して、育てるために必要なもの、条件に気づき育てようとする。	(知・技) 虫眼鏡やものさしを正しく使い、育てている植物の育ちを確かめ形や色、大きさなどの特徴を捉え、記録することができる。 (思・判・表) 育てている植物の育ちについて、差異点や共通点をもとに問題を見いだし、その考えを他者に伝えるように工夫して表現することができる。 (主学) 継続的に植物の世話をする中で、ヒマワリの育ち方に興味をもち、他者と関わりながら、すすんで問題を解決しようとする。	・植物の育ち方 [1] ヒマワリ [2] 植物の育ち方と体のつくり	・葉を出したあと ・花をさかせたあと
3 学期	4	(知及技) 観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。 (思判表力) 物は、形が変わっても重さは変わらないこと調べ、重さを比較し、差異点を考え表現する。 (学・人) 道具を大切に扱い、他者と関わり進んで学習活動に取り組もうとする。	(知・技) はかりや天秤を使って、物の重さを比べたり量ったりすることができる。 (思・判・表) 物の重さについて、予想を立てたり、比べたりすることができる。 (主学) 物の重さについて、道具を大切に扱い、他者と関わりながら、比べたり話し合ったりしながら進ん活動に取り組もうとする。	・物の重さ [1] 形と重さ	・どちらが重い ・同じ大きさの重さ比べ
	4	(知及技) 磁石につく物や鉄の磁化、磁石の極の特性についての理解や実験に関する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 磁石の性質について、磁石を身のまわりの物や他の磁石に近づけたときの様子に着目し、磁石の性質について追究する中で差異点や共通点をもとに問題を見いだし表現する。 (学・人) 磁石の活用について考え、生活の様々な場面で生かそうとする。	(知・技) 器具を正しく扱いながら、磁石を物に近づけて何が磁石につくかを確かめ、その結果をわかりやすく記録することができる。 (思・判・表) 磁石につく物について、差異点や共通点をもとに問題を見いだし、その考えを他者に伝わりやすいように工夫して表現することができる。 (主学) 身のまわりで見られる現象をもとに、磁石につく物について興味をもち、他者と関わりながら、すすんで問題を解決しようとする。	・じしゃくのふしぎ [1] じしゃくに引き付けられるもの [2] じしゃくと鉄	・じしゃく

留意点 引継ぎ等					
-------------	--	--	--	--	--

令和8年度 中学部 1・2・3年 (II課程Bグループ) 理科 年間指導計画

単位数 /配当 時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35		本原 香代子	教科書：理科(☆4、☆5) 文部科学省出版

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 実験の流れを通して知ることができる。 (思判表力)身の回りの生物や植物の様子に関心を持ち、感じたことを表現することができる。 (学・人)自然事象に関心を持ち、学習活動に参加することができる。
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技)身近な植物を観察することができる。 (思判表力)植物の葉や花の形、色について着目することができる。 (学・人)いろいろな植物に関心を持ち、学習に参加することができる。	(知・技)植物の葉や花の形、色、大きさ等を知ろうとしている。 (思・判・表)植物を触り、感触の違いを教師と一緒に考えようとしている。 (主学)身の回りの植物についてすすんで関わろうとすることができる。	・自然の観察	・校内にある植物を観察しよう！ ・植物の名前をおぼえよう！ ・植物には色、形、大きさなど、姿の違いを見つけよう！
	8	(知及技)太陽と地面の様子について知ろうとしている。 (思判表力)日なたと日かげの様子に着目して、教師と一緒に考えようとしている。 (学・人)太陽と地面の様子を観察に興味を持ち、教師と一緒に学習に参加することができる。	(知・技)器具を使ったり、直接地面を触ったりして温度の違いを知ろうとしている。 (思・判・表)影があるところを教師と一緒に見つけたり、日なたとの違いを感じたりすることができる。 (主学)学習活動に参加することができる。	・地面の様子と太陽 [1]影のでき方と太陽の位置 [2]日なたと日かげの地面の様子 [3]太陽の進み方 [4]日光を当てたところの明るさとあたたかさ	・影と太陽 [1]日なたと日かげ ・温度を計ろう ・光を集めよう
2 学期	7	(知及技)身近な植物を育て、観察しようとする事ができる。 (思判表力)成長の過程に着目し、葉や花、茎の大きさを教師と一緒に触ったり、観察することができる。 (学・人)植物の生育観察を教師と一緒にしようとする事ができる。	(知・技)育てている植物の育ちを確かめ形や色、大きさなどを教師と一緒に知ろうとしている。 (思・判・表)育てている植物の育ちについて、教師と一緒に観察しようとしている。 (主学)学習活動に参加しようとしている。	・植物の育ち方 [1]ヒマワリ [2]植物の育ち方と体のつくり	・葉を出したあと ・花をさかさせたあと
3 学期	4	(知及技)観察、実験などに関する初歩的な技能を知ろうとすることができる。 (思判表力)色々な物の重さを比べ、形が変わった時の重さを教師と一緒に考えることができる。 (学・人)他者と関わり進んで学習活動に取り組もうとする。	(知・技)はかりや天秤を使って、物の重さを比べたり量ったりすることができる。 (思・判・表)物の重さについて、比べたりすることができる。 (主学)学習活動に参加しようとしている。	・物の重さ [1]形と重さ	・どちらが重い ・同じ大きさの重さ比べ
	4	(知及技)磁石につく物やつかないものについて知ろうとすることができる。 (思判表力)磁石の性質について、磁石を身のまわりの物に近づけたときの様子に着目しようとする事ができる。 (学・人)他者とかかわり、進んで学習にとりまかしている。	(知・技)磁石を物に近づけて磁石につくかどうかを確かめようとする事ができる。 (思・判・表)磁石の性質について教師と一緒に考えようとする事ができる。 (主学)磁石に関心を持ち、他者と関わりながら、活動に参加しようとしている。	・じしゃくのふしぎ [1]じしゃくに引き付けられるもの [2]じしゃくと鉄	・じしゃく
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部 1～3年（Ⅱ課程Aグループ） 音楽科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70		牛井潤 浩之	音楽 ☆☆☆ [特別支援学校中学部知的障害者用 (文部科学省著作教科書 中学部数学科)]

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身につける。 (思判表力) 音や音楽を味わいながら聴くことができる。 (学・人) 進んで音や音楽に関わり、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技) 歌詞やリズムを意識して歌う。 (思・判・表)いろいろなパターンの動きを覚えて表現する。 (学・人)友人と動きを合わせて楽しく踊ることができる。	(知・技) 歌詞やリズムを意識して歌おうとしている。 (思・判・表)いろいろなパターンの動きを覚えて表現している。 (学・人)友人と動きを合わせて楽しく踊っている。	身体表現	・歌詞やメロディーを覚える。 ・ダンスの動きを1つずつ確認しながら表現する。 ・両手に旗を持ってみんなでダンスをする。
	11	(知及技) 楽譜を見て簡単な楽曲を演奏することができる。 (思・判・表)テンポに合わせて演奏することができる。 (学・人)鍵盤楽器を演奏することの楽しさに気付くことができる。	(知・技) 楽譜を見て簡単な楽曲を演奏している。 (思・判・表)テンポに合わせて演奏している。 (学・人)鍵盤楽器を演奏することの楽しさに気付いている。	器楽	・鍵盤で音階を演奏する。 ・個人で演奏する曲に取り組む。 ・キーボードで合奏をする。
	10	(知及技) 画面の音符を見ながら自分の身体を鳴らすことができる。 (思・判・表)好きな音符を組み合わせてリズムを作ることができる。 (学・人)みんなで表現することの楽しさを味わうことができる。	(知・技) 画面の音符を見ながら自分の身体を鳴らしている。 (思・判・表)好きな音符を組み合わせてリズムを作っている。 (学・人)みんなで表現することの楽しさを味わおうとしている。	身体表現	・画面を見ながら、音楽に合わせて身体のいろいろな部分の音を鳴らす。 ・好きな音符を選び創作をする。 ・組み合わせたリズムを演奏する。
2 学期	15	(知及技)歌詞やリズムを意識して歌う。 (思・判・表)手話で表現することができる。 (学・人)演奏や表現を友人と合わせて楽しく表現できる。	(知・技)歌詞やリズムを意識して歌っている。 (思・判・表)手話で表現しようとしている。 (学・人)演奏や表現を友人と合わせて楽しく表現している。	身体表現	・音楽を聴いて旋律やリズムを覚える。 ・歌詞を1つ1つ確認しながら手話に取り組む。 ・音楽に合わせて手話で表現する。
	15	(知及技)楽器を使って自分のパートの音を演奏することができる。 (思・判・表)周りの音を聴きながら演奏することができる。 (学・人)鍵盤や打楽器で合奏できる。	(知・技)楽器を使って自分のパートの音を演奏している。 (思・判・表)周りの音を聴きながら演奏している。 (学・人)鍵盤や打楽器で合奏している。	合奏	・個人練習を行い、自分のパートのリズムや旋律を覚える。 ・パート練習を通して、周りと音を合わせて練習に取り組む。 ・メロディーパートと伴奏パートに分けて練習を行い、全体合奏をする。
3 学期	7	(知及技)音楽の特徴や背景について知ることができる。 (思・判・表)曲や演奏のよさを感じ取って聴くことができる。 (学・人)音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。	(知・技)音楽の特徴や背景について知ろうとしている。 (思・判・表)曲や演奏のよさを感じ取って聴こうとしている。 (学・人)音楽のよさや美しさを味わって聴こうとしている。	鑑賞	・作曲家や曲の特徴について確認をする。 ・クラシック音楽が現代音楽にリメイクされている曲などを紹介し、おもしろさに気付くことができるようにする。 ・様々なジャンルの曲に取り組み、興味関心が高められるようにする。
	7	(知及技)三線を良い姿勢で弾くことができる。 (思・判・表)工工四を見ながら演奏することができる。 (学・人)曲を聴きながらタイミングを合わせて三線の弦を鳴らすことができる。	(知・技)三線を良い姿勢で弾いている。 (思・判・表)工工四を見ながら演奏している。 (学・人)曲を聴きながらタイミングを合わせて三線の弦を鳴らしている。	器楽	・三線の正しい持ち方や姿勢を確認する。 ・開放弦の3つの音を鳴らして演奏する。 ・音楽に合わせて演奏する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部 1～3年（Ⅱ課程Bグループ） 音楽科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70		牛井潤 浩之	頭がいい子が育つクラシック名曲4 5選

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身につける。 (思判表力) 音や音楽を味わいながら聴くことができる。 (学・人) 進んで音や音楽に関わり、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技) 歌詞やリズムを感じて歌う。 (思・判・表)基礎的な動きのパターンを表現する。 (学・人)友人と動きを合わせて楽しく踊ることができる。	(知・技) 歌詞やリズムを感じて歌おうとしている。 (思・判・表)基礎的な動きのパターンを表現している。 (学・人)友人と動きを合わせて楽しく踊っている。	身体表現	・歌詞とメロディー1つずつ確認しながら表現する。 ・ダンスの動きを1つずつ確認しながら表現する。 ・両手に旗を持ってみんなでダンスをする。
	11	(知及技) 簡単な楽曲をリズムを打つことができる。 (思・判・表)テンポに合わせて演奏することができる。 (学・人)打楽器を演奏することの楽しさに気付くことができる。	(知・技) 簡単な楽曲のリズムを打つことができる。 (思・判・表)テンポに合わせて演奏している。 (学・人)打楽器を演奏することの楽しさに気付いている。	器楽	・打楽器でリズムを打つ。 ・ピアノ伴奏に合わせて演奏する。 ・打楽器で合奏をする。
	10	(知及技) 画面の音符を見ながら自分の身体を鳴らしたり揺らしたりすることができる。 (思・判・表)オリジナルのリズムを作ることができる。 (学・人)みんなで表現することの楽しさを味わうことができる。	(知・技) 画面の音符を見ながら自分の身体を鳴らしたり揺らしたりしている。 (思・判・表)オリジナルのリズムを作っている。 (学・人)みんなで表現することの楽しさを味わおうとしている。	身体表現	・音楽に合わせて身体のいろいろな部分の音を鳴らしたり、揺らしたりする。 ・好きなリズムを創作をする。 ・オリジナルのリズムを発表する。
2 学期	15	(知及技)歌詞やリズムを感じて歌う。 (思・判・表)簡単な手話で表現することができる。 (学・人)演奏や表現を友人と合わせて楽しく表現できる。	(知・技)歌詞やリズムを感じて歌っている。 (思・判・表)手話で表現しようとしている。 (学・人)演奏や表現を友人と合わせて楽しく表現している。	身体表現	・歌詞とメロディー1つずつ確認しながら表現する。 ・歌詞を1つ1つ確認しながら手話に取り組む。 ・音楽に合わせて手話で表現する。
	15	(知及技)楽器を使って自分のパートの音を演奏することができる。 (思・判・表)周りの音を聴きながら演奏することができる。 (学・人)鍵盤や打楽器で合奏できる。	(知・技)楽器を使って自分のパートの音を演奏している。 (思・判・表)周りの音を聴きながら演奏している。 (学・人)鍵盤や打楽器で合奏している。	合奏	・個人練習を行い、自分のパートのリズムや旋律を覚える。 ・パート練習を通して、周りと音を合わせて練習に取り組む。 ・メロディーパートと伴奏パートに分けて練習を行い、全体合奏をする。
3 学期	7	(知及技)音楽の特徴や背景を知ることができる。 (思・判・表)曲や演奏のよさを感じ取って聴くことができる。 (学・人)音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。	(知・技)音楽の特徴や背景について知ろうとしている。 (思・判・表)曲や演奏のよさを感じ取って聴こうとしている。 (学・人)音楽のよさや美しさを味わって聴こうとしている。	鑑賞	・作曲家や曲の特徴について確認をする。 ・クラシック音楽が現代音楽にリメイクされている曲などを紹介し、おもしろさに気付くことができるようにする。 ・様々なジャンルの曲に取り組み、興味関心が高められるようにする。
	7	(知及技)三線を良い姿勢で持つことができる。 (思・判・表)開放弦を演奏することができる。 (学・人)曲を聴きながら三線の弦を鳴らすことができる。	(知・技)三線を良い姿勢で弾いている。 (思・判・表)開放弦を演奏している。 (学・人)曲を聴きながら三線の弦を鳴らしている。	器楽	・三線の正しい持ち方や姿勢を確認する。 ・開放弦の3つの音を鳴らして演奏する。 ・音楽に合わせて演奏する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部1～3年（Ⅱ課程）A 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70			なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 造形的な視点について気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) 表したいことや表し方などについて考えたり、身近な作品から自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。</p> <p>(学・人) 美術を楽しむ心情を育み、生活や社会に生かそうとする態度を養う。</p>
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	<p>(知及技) ・顔の角度、表情やしぐさ、背景などに注目して表す。 ・インク、ローラーなど、版画で使う用具の扱い方を身に付ける。</p> <p>(思判表力) ・今の気持ちや顔のイメージなどを基に、構想を練る。 ・材料を基に、自画像の表し方を発想する。</p> <p>(学・人) ・今の気持ちを見つめ、自画像で表すことに関心をもち、意欲的に取り組もうとする。 ・主体的に制作活動に取り組み、自分なりに工夫しようとする。</p>	<p>(知及技) ・顔の特徴に注目して、自分なりに表し方を工夫している。 ・版画で使う用具の扱い方を身につけている。</p> <p>(思判表力) ・心情や顔の雰囲気などを基に、絵の構想を練っている。 ・材料の特性を基に、表し方を発想している。</p> <p>(学・人) ・主体的に、表すことに取り組んでいる。</p>	<p>「自画像をつくろう」 ・版画で表現する (版の制作、刷り、着色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・版画で使う用具の特性を知る。 ・用具の扱い方を身につける。 ・自分と向き合い、表し方を発想する。 ・他者の作品を鑑賞する。
2 学期	30	<p>(知及技) ・水彩絵の具を使って、工夫して表すことができる。 ・粘土の特性や質感に注目して表す。</p> <p>(思判表力) ・学校行事の内容を基に、表したいことを発想することができる。 ・紙粘土の感触を基に、表したいことを発想することができる。</p> <p>(学・人) ・水彩絵の具や粘土の特性を生かしてつくることに関心をもち、意欲的に取り組もうとする。</p>	<p>(知及技) ・水彩絵の具を使って、自分なりに表し方を工夫している。 ・粘土の特徴に注目して表している。</p> <p>(思判表力) ・学校行事の内容を基に、表したいことを発想している。 ・紙粘土の感触を基に、表したいことを発想している。</p> <p>(学・人) ・主体的に、表すことに取り組んでいる。</p>	<p>「学校行事のポスターをつくろう」 ・絵画で表現する</p> <p>「小物をつくろう」 ・立体で表現する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水彩絵の具や粘土の特性を知る。 ・用具の扱い方を身につける。 ・学校行事のポスターの表し方を発想する。 ・他者の作品を鑑賞する。
3 学期	14	<p>(知及技) ・1年間で制作した作品を、工夫して作品集にまとめることができる。</p> <p>(思判表力) ・心に残っている1年間の思い出を発想し、絵に表すことができる。</p> <p>(学・人) ・卒業式の壁画を作る活動に、楽しく取り組もうとする。</p>	<p>(知及技) ・1年間で制作した作品を、工夫して作品集にまとめている。</p> <p>(思判表力) ・心に残っている1年間の思い出を発想し、絵に表している。</p> <p>(学・人) ・卒業式の壁画を作る活動に、楽しく取り組んでいる。</p>	<p>「作品集をつくろう」 ・作品をのり付けする</p> <p>「卒業式の壁画をつくろう」 ・体育館の装飾を制作する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・材料や用具の特性を知る。 ・1年間のまとめとして、作品集を制作する。 ・他者の作品を鑑賞する。

留意点 引継ぎ等	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の名称を確認したり、使い方の実演を提示したりする。 ・制作に用いる材料を提示し、触れる時間を設けたり、工夫する方法を参考作品や動画を通して伝えたりする。 ・主体的に取り組めるよう、生徒の関心のある素材を選ぶ。
-------------	---

令和7年度 中学部1～3年（Ⅱ課程）B 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70			なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 造形的な視点について気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) 表したいことや表し方などについて考えたり、身近な作品から自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。</p> <p>(学・人) 美術を楽しむ心情を育み、生活や社会に生かそうとする態度を養う。</p>
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	<p>(知及技) ・材料を貼り付けて版をつくることができる。 ・インク、ローラーなど、版画で使う用具の扱い方を身に付ける。</p> <p>(思判表力) ・身近な材料を貼り、表したいことを思いついたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができる。</p> <p>(学・人) ・主体的に制作活動に取り組み、自分なりに工夫しようとする。 ・進んで鑑賞の活動に取り組もうとする。</p>	<p>(知及技) ・材料（小さくちぎった画用紙やボール紙、シールなどの身近な材料）を、貼り付けて版をつくっている。 ・版画で使う用具の扱い方を身に付けている。</p> <p>(思判表力) ・身近な材料を貼り、面白さや楽しさを感じ取っている。</p> <p>(学・人) ・主体的に制作活動に取り組み、自分なりに工夫している。 ・進んで鑑賞の活動に取り組んでいる。</p>	<p>「版画をつくろう」 (版の制作、刷り、着彩)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・版画で使う材料を貼り付ける。 ・版画で使う用具の扱い方を身に付ける。 ・他者の作品を鑑賞する。
2 学期	30	<p>(知及技) ・水彩絵の具を使って、画用紙に色を塗ることができる。 ・粘土を使って、「ちぎる」「丸める」「広げる」などの動きができる。</p> <p>(思判表力) ・学校行事の内容を基に、絵（ポスター）に表すことができる。 ・紙粘土の感触を味わい、表したいことを思い付くことができる。</p> <p>(学・人) ・水彩絵の具や粘土の特性を生かしてつくることに関心を持ち、意欲的に取り組もうとする。 ・絵画の人物になりきる鑑賞活動に、進んで取り組もうとする。</p>	<p>(知及技) ・水彩絵の具を使って、画用紙に色を塗っている。 ・粘土を使って、「ちぎる」「丸める」「広げる」などの動きをしている。</p> <p>(思判表力) ・学校行事の内容を基に、絵（ポスター）に表している。 ・紙粘土の感触を味わい、表したいことを思い付いている。</p> <p>(学・人) ・主体的に、表すことに取り組んでいる。 ・絵画の人物になりきる鑑賞活動に、進んで取り組んでいる。</p>	<p>「学校行事のポスターをつくろう」 ・絵画で表現する</p> <p>「小物をつくろう」 ・立体で表現する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具の扱い方を身に付ける。 ・学校行事のポスターをつくる。 ・小物（マグネット等）をつくる。 ・他者の作品を鑑賞する。
3 学期	14	<p>(知及技) ・1年間で制作した作品を、作品集にまとめることができる。</p> <p>(思判表力) ・心に残っている出来事を思い出し、絵に表すことができる。</p> <p>(学・人) ・卒業式の壁画を作る活動に、楽しく取り組もうとする。</p>	<p>(知及技) ・1年間で制作した作品を、作品集にまとめている。</p> <p>(思判表力) ・心に残っている出来事を思い出し、絵に表している。</p> <p>(学・人) ・卒業式の壁画を作る活動に、楽しく取り組んでいる。</p>	<p>「作品集をつくろう」 ・作品をのり付けする</p> <p>「卒業式の壁画をつくろう」 ・体育館の装飾を制作する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・のりの扱い方を身に付ける。 ・作品集をつくる。 ・卒業式の壁画をつくる。

留意点 引継ぎ等	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の名称を確認したり、使い方の実演を提示したりする。 ・制作に用いる材料を提示し、触れる時間を設けたり、工夫する方法を参考作品や動画を通して伝えたりする。 ・主体的に取り組めるよう、生徒の関心のある素材を選ぶ。
-------------	---

令和8年度		中学部 1・2・3年（Ⅱ課程A）		保健体育科 年間指導計画	
単位数/ 配当時数	生徒について			担当者	教科書/副教材
4/140				高屋沙織	
年間目標		<p>（知及技）各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身につけるようにする。</p> <p>（思判表力）各種の運動や健康な生活における自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>（学・人）各種の運動に進んで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したり、最後まで楽しく運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	20	<p>（知及技）体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりする。</p> <p>（思判表力）自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したことを他者に伝える。</p> <p>（主学）きまりを守り、友達と協力したり、最後まで楽しく運動をする。</p>	<p>（知及技）多様な動きを通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れたり、友達と関わるができる。</p> <p>（思判表力）自己の課題を見つけたり、目標を設定したりすることができる。</p> <p>（主学）友達と協力して、最後まで楽しく運動することができる。</p>	<p>・オリエンテーション</p> <p>・整列、集合</p> <p>・体づくり運動</p> <p>・体力テスト</p>	<p>・授業の心構え</p> <p>・集合、整列</p> <p>・体ほぐしの運動 （体操、リズム運動、集団遊び）</p> <p>・体の動きを高める運動 （ウォーキング、サーキット運動）</p> <p>・体力テスト（50m走、握力、ソフトボール投げ、長座体前屈、反復横跳び）</p>
	26	<p>（知及技）初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付ける。</p> <p>（思判表力）自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したことを他者に伝える。</p> <p>（主学）水泳のきまりを守り、安全に留意して泳ぐ。</p>	<p>（知及技）自己の泳力に合った方法で、もぐる・浮く・進むことができる。</p> <p>（思判表力）自分の課題を見つけたり、目標を設定したりすることができる。</p> <p>（主学）水泳のきまりを守り、安全に留意して行動している。</p>	水泳	<p>・もぐる・浮く運動</p> <p>・浮いて進む運動</p> <p>・泳ぐ運動</p>

2 学 期	24	<p>(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身につけ、簡易化されたゲームを行うこと。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える。</p> <p>(主学) きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したり、最後まで楽しく運動する。</p>	<p>(知及技) 基本的なボール操作(シュート、パス、返球、捕球など)を身につけ、簡易化されたゲームを行うことができる。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見つけ、目標を設定したり、作戦を考えたりすることができる。</p> <p>(主学) きまりや簡単なルールを守り、安全に留意しながら、友達と協力して運動を楽しむことができる。</p>	球技	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型(バスケット、フリスビー、ポッチャ) ・ネット型(ソフトバレー、バドミントン) ・ベースボール型(キックベースボール)
	24	<p>(知及技) 陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身につけること。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える。</p> <p>(主学) きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したり、最後まで楽しく運動する。</p>	<p>(知及技) 自分の能力に合った基本的な体の動きを身につけ、全力走やバトンパスの技能を身につけることができる。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見つけ、目標を設定することができる。</p> <p>(主学) きまりを守り、安全に留意しながら、友達と協力して運動を楽しむことができる。</p>	陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走(50・100m走) ・リレー
	6	<p>(知及技) ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身につけ、表現したり踊ったりする。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える。</p> <p>(主学) ダンスに進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したり、最後まで楽しく運動する。</p>	<p>(知及技) 身近な音楽や軽快なリズムに乗って全身で踊ったり、友達と自由に関わり合って楽しく踊ることができる。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見つけ、目標を設定することができる。</p> <p>(主学) ダンスに進んで取り組み、友達と互いの動きを認め協力してダンスを楽しむことができる。</p>	ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・エイサー ・創作ダンス

3 学 期	14	<p>(知及技) 陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身につけること。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える。</p> <p>(主学) きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したり、最後まで楽しく運動する。</p>	<p>(知及技) 自分の能力に合った基本的な体の動きを身につけ、一定の時間や距離を決めて走り続けることができる。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見つけ、目標を設定することができる。</p> <p>(主学) きまりを守り、安全に留意しながら、友達と協力して運動を楽しむことができる。</p>	陸上競技	長距離走
	14	<p>(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身につけ、簡易化されたゲームを行うこと。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える。</p> <p>(主学) きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したり、最後まで楽しく運動する。</p>	<p>(知及技) 基本的なボール操作(シュート、パス、返球、捕球など)を身につけ、簡易化されたゲームを行うことができる。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見つけ、目標を設定したり、作戦を考えたりすることができる。</p> <p>(主学) きまりや簡単なルールを守り、安全に留意しながら、友達と協力して運動を楽しむことができる。</p>	球技	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型(バスケット、フリスビー、ポッチャ、グラウンドゴルフ) ・ネット型(ソフトバレー、バドミントン) ・ベースボール型(キックベースボール)
	通 年	12	<p>(知及技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見付け、解決方法を考えたり伝えたりできる。</p>	<p>(知及技) 自分の体に関心を持ち、生活に必要な習慣や態度を身につけ、健康的な生活をおくることができる。</p> <p>(思判表力) 自分の体調の変化を捉え、他者に伝えたり、生活環境を整えようとすることができる。</p>	保健
留意事項 引継ぎ等					

令和8年度		中学部 1・2・3年（Ⅱ課程B）		保健体育科 年間指導計画	
単位数/ 配当時数	生徒について			担当者	教科書/副教材
4/140				漢那武司	
年間目標		<p>（知及技）各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身につけるようにする。</p> <p>（思判表力）各種の運動や健康な生活における自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>（学・人）各種の運動に進んで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したり、最後まで楽しく運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	20	<p>（知及技）体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりする。</p> <p>（思判表力）自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したことを他者に伝える。</p> <p>（主学）きまりを守り、友達と協力したり、最後まで楽しく運動をする。</p>	<p>（知及技）多様な動きを通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れたり、友達と関わるができる。</p> <p>（思判表力）自己の課題を見つけたり、目標を設定したりすることができる。</p> <p>（主学）友達と協力して、最後まで楽しく運動することができる。</p>	<p>・オリエンテーション</p> <p>・整列、集合</p> <p>・体づくり運動</p> <p>・体力テスト</p>	<p>・授業の心構え</p> <p>・集合、整列</p> <p>・体ほぐしの運動 （体操、リズム運動、集団遊び）</p> <p>・体の動きを高める運動 （ウォーキング、サーキット運動）</p> <p>・体力テスト（50m走、握力、ソフトボール投げ、長座体前屈、反復横跳び）</p>
	26	<p>（知及技）初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付ける。</p> <p>（思判表力）自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したことを他者に伝える。</p> <p>（主学）水泳のきまりを守り、安全に留意して泳ぐ。</p>	<p>（知及技）自己の泳力に合った方法で、もぐる・浮く・進むことができる。</p> <p>（思判表力）自分の課題を見つけたり、目標を設定したりすることができる。</p> <p>（主学）水泳のきまりを守り、安全に留意して行動している。</p>	水泳	<p>・もぐる・浮く運動</p> <p>・浮いて進む運動</p> <p>・泳ぐ運動</p>

2 学 期	24	<p>(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身につけ、簡易化されたゲームを行うこと。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える。</p> <p>(主学) きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したり、最後まで楽しく運動する。</p>	<p>(知及技) 基本的なボール操作(シュート、パス、返球、捕球など)を身につけ、簡易化されたゲームを行うことができる。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見つけ、目標を設定したり、作戦を考えたりすることができる。</p> <p>(主学) きまりや簡単なルールを守り、安全に留意しながら、友達と協力して運動を楽しむことができる。</p>	球技	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型(バスケット、フリスビー、ポッチャ) ・ネット型(ソフトバレー、バドミントン) ・ベースボール型(キックベースボール)
	24	<p>(知及技) 陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身につけること。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える。</p> <p>(主学) きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したり、最後まで楽しく運動する。</p>	<p>(知及技) 自分の能力に合った基本的な体の動きを身につけ、全力走やバトンパスの技能を身につけることができる。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見つけ、目標を設定することができる。</p> <p>(主学) きまりを守り、安全に留意しながら、友達と協力して運動を楽しむことができる。</p>	陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走(50・100m走) ・リレー
	6	<p>(知及技) ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身につけ、表現したり踊ったりする。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える。</p> <p>(主学) ダンスに進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したり、最後まで楽しく運動する。</p>	<p>(知及技) 身近な音楽や軽快なリズムに乗って全身で踊ったり、友達と自由に関わり合って楽しく踊ることができる。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見つけ、目標を設定することができる。</p> <p>(主学) ダンスに進んで取り組み、友達と互いの動きを認め協力してダンスを楽しむことができる。</p>	ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・エイサー ・創作ダンス

3 学 期	14	<p>(知及技) 陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身につけること。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える。</p> <p>(主学) きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したり、最後まで楽しく運動する。</p>	<p>(知及技) 自分の能力に合った基本的な体の動きを身につけ、一定の時間や距離を決めて走り続けることができる。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見つけ、目標を設定することができる。</p> <p>(主学) きまりを守り、安全に留意しながら、友達と協力して運動を楽しむことができる。</p>	陸上競技	長距離走
	14	<p>(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身につけ、簡易化されたゲームを行うこと。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える。</p> <p>(主学) きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したり、最後まで楽しく運動する。</p>	<p>(知及技) 基本的なボール操作(シュート、パス、返球、捕球など)を身につけ、簡易化されたゲームを行うことができる。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見つけ、目標を設定したり、作戦を考えたりすることができる。</p> <p>(主学) きまりや簡単なルールを守り、安全に留意しながら、友達と協力して運動を楽しむことができる。</p>	球技	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型(バスケット、フリスビー、ポッチャ、グラウンドゴルフ) ・ネット型(ソフトバレー、バドミントン) ・ベースボール型(キックベースボール)
	通 年	12	<p>(知及技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見付け、解決方法を考えたり伝えたりできる。</p>	<p>(知及技) 自分の体に関心を持ち、生活に必要な習慣や態度を身につけ、健康的な生活をおくることができる。</p> <p>(思判表力) 自分の体調の変化を捉え、他者に伝えたり、生活環境を整えようとすることができる。</p>	保健
留意事項 引継ぎ等					

令和8年度 中学部1～3年(Ⅱ課程A) 職業・家庭/家庭分野 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	1年(TK、MK) 2年(SK、TK、KR、MR、NS、YH) 3年(SR、MM、UM、SA))	多宇円香	「たのしい家庭科」(開隆堂) 「共に生きる家庭科」(開隆堂) 「技術・家庭学習ノート」(沖縄県中学校技術・家庭科研究会)ほか

年間目標		<p>(知及技) 家庭の中で自分の役割に気付き、生活の自立に必要な基礎的な理解を図り、それらに関わる技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力) 家庭生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気付き、実践し、学習したことを伝えるなど日常生活における課題解決する力の基礎を養う。</p> <p>(学・人) 家族や地域の人々とのやり取りを通してよりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) 「職業・家庭」の授業内容を知る。 (学・人) 自分の目標を立て、学習意欲を高める。 (思判表力) まわりの人を大切にす気持ちを持ち、よりよい関わり方について気付き、それらを他者に伝える。	(知・技) 「職業・家庭」の学習内容を理解している。 (主学) 自分の目標を持ち、学習意欲を高めようとしている。 (思・判・表) まわりの人を大切にす気持ちを持ち、よりよい関わり方について気付き、それらを他者に伝えることができる。	・オリエンテーション ・「職業・家庭」で何を学習するの？ ・自立と衣食住の大切さ ・まわりの人とよりよい関係づくり	・「職業・家庭」を学ぶ意義について学ぶ。 ・まわりの人とよりよい関係をつくるにはどうしたらよいか考える手立てとして「ちくちくことば」「ふわふわことば」について考える。 ・すごろくを活用してまわりの人と積極的に関わろうとするソーシャルスキルの向上を目指す。
	8	(知及技) 自分の成長に気づき、成長過程を知る。子どもの成長や適切な関わり方を知る。 (思判表力) 妊娠中の生活を知ること、母親の気持ちを考える。	(知・技) 自分の成長に気づき、成長過程を知る。子どもの成長や適切な関わり方を理解している。 (思・判・表) 妊娠中の生活を知ること、母親の気持ちを考えることができる。	・自分の成長をふり返ろう ・子どもの成長	・模擬妊婦体験や新生児人形を使用した体験的な学習を行う。 ・自分の人生の中で、今どんな時期なのかを知り、過去の自分、今の自分、未来の自分について思いを巡らせながら「わたし絵本」の制作を行う。
	12	(知及技) 簡単な調理の仕方や手順について知り、調理する。 (思判表力)(学・人) 調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫する。 (知及技) 安全に注意して小物製作を行う。	(知・技) 簡単な調理の仕方や手順について知り、調理できる。 (思・判・表)(主学) 調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫している。 (知・技) 安全に注意して小物製作ができる。	・調理実習の基礎 ・沖縄の伝統的菓子「アガラサー」 ・沖縄の行事食「ポーポー」 ・被服実習の基礎 ・基礎縫い	・調理室や調理道具の使い方を学び、安全面・衛生面に配慮した調理ができるようにする。 ・沖縄の伝統的菓子や行事食に触れ、郷土の文化への理解を深める。 ・被服室や裁縫道具の使い方を学び、安全面に配慮した製作ができるようにする。
2 学期	16	(知及技) 場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知り、実践する。 (思判表力) 日常着の着方や手入れの仕方に気付き、工夫する。	(知・技) 場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知り、実践できる。 (思判表力) 日常着の着方や手入れの仕方に気付き、工夫している。	・季節に応じた被服の工夫 ・衣服の手入れの仕方	・季節に応じた被服の工夫を考える。 ・衣服の手入れの仕方(アイロンのかけ方、たたみ方、洗濯機の使い方) ・身の回りの整理整頓、身だしなみを整えることの大切さを知る。
	14	(知及技) 簡単な調理の仕方や手順について知り、調理する。 (思判表力)(学・人) 調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫する。 (知及技) 安全に注意して小物製作を行う。	(知・技) 簡単な調理の仕方や手順について知り、調理できる。 (思・判・表)(主学) 調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫している。 (知・技) 安全に注意して小物製作ができる。	・調理実習の基礎 ・季節の果物を使った調理「アップルパイ」 ・パーティーをしよう「ピザ」 ・被服実習の基礎	・調理室や調理道具の使い方を学び、安全面・衛生面に配慮した調理ができるようにする。 ・旬の食材を使用することで季節感を感じることができるようになる。 ・パーティーを企画して実行する。 ・被服室や裁縫道具の使い方を学び、安全面に配慮した製作ができるようにする。
3 学期	8	(知及技) 健康な生活と食事の役割や日常の食事の大切さを理解する。 (思判表力) 日常の食事の大切さや規則正しい食事の必要性を考え、表現すること。	(知・技) 健康な生活と食事の役割や日常の食事の大切さを理解している。 (思・判・表) 日常の食事の大切さや規則正しい食事の必要性を考え、表現できる。	・バランスのよい食事をしよう ・簡単な朝食を考えよう	・食事の役割とはたらき、バランスについて知る。 ・栄養バランスを考えた簡単な朝食を考えてみる。
	6	(知及技) 簡単な調理の仕方や手順について知り、調理する。 (思判表力)(学・人) 調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫する。 (知及技) 安全に注意して小物製作を行う。	(知・技) 簡単な調理の仕方や手順について知り、調理できる。 (思・判・表)(主学) 調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫している。 (知・技) 安全に注意して小物製作ができる。	・調理実習の基礎 ・簡単な朝食の調理 ・被服実習の基礎 ・基礎縫い	・調理室や調理道具の使い方を学び、安全面・衛生面に配慮した調理ができるようにする。 ・栄養バランスを考えた簡単な朝食を作る。 ・被服室や裁縫道具の使い方を学び、安全面に配慮した製作ができるようにする。
留意点 引継ぎ等		<ul style="list-style-type: none"> ・始業時の挨拶時に、着席の姿勢や学習の準備が整っていることを確認し、学習に向かう気持ちを整えさせる。 ・季節行事等の身近な話題を挙げ、学習内容との関係性を示しながら、学習への関心・意欲を高めさせる。 ・学習内容と関連した絵本を読み聞かせし、学習への意欲・関心を高めさせる。 ・学習内容に応じて、適宜ICT機器を活用する。 			

令和8年度 中学部1～3年（Ⅱ課程B） 職業・家庭／家庭分野 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70		多宇円香	「たのしい家庭科」（開隆堂） 「共に生きる家庭科」（開隆堂）

年間目標		<p>(知及技) 家庭の中で自分の役割に気付き、生活の自立に必要な基礎的な理解を図り、それらに関わる技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力) 家庭生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気付き、実践し、学習したことを伝えるなど日常生活における課題解決する力の基礎を養う。</p> <p>(学・人) 家族や地域の人々とのやり取りを通してよりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技) 「職業・家庭」の授業内容を知る。 (学・人) 担当教師に注目し、学習意欲を高める。 (思判表力) 他者に関心を持ち、ボールを渡す。	(知・技) 「職業・家庭」の学習内容のスライドの方に関心を持って見ることができる。 (知・技) 自分の名前を呼んだ担当教師に気づき、反応することができる。 (思・判・表) 他者に関心を持ち、指示された人にボールを渡すことができる。	・オリエンテーション ・「職業・家庭」で何を学習するの？ ・まわりの人とよりよい関係づくり ・自己紹介 ・季節の歌	・「職業・家庭」を学ぶ意義について学ぶ。 ・ボールを活用してまわりの人と積極的に関わろうとするソーシャルスキルの向上を目指す。
	4	(知及技) ・人の成長過程のスライドの方に関心を持って見る。 ・絵本に関心を持って触れることができる。 (思判表力) 新生児抱き人形に興味を持ち、優しく触れる。	(知・技) ・人の成長過程のスライドの方に関心を持って見ることができる。 ・絵本に関心を持って触れることができる。 (思・判・表) 新生児人形に興味を持ち、優しく触れることができる。	・自分の成長をふり返ろう ・子どもの成長 ・絵本 ・子どもの歌 ・季節の歌	・新生児人形を使用した体験的な学習を行う。 ・様々な種類の絵本に触れる。
	18	(知及技) 簡単な調理や裁縫に必要な器具に触れようとする。 (学・人) 味覚や嗅覚、触った感触で素材の良さを感じようとする。	(知・技) 簡単な調理や裁縫に必要な器具に触れようとする。 (主学) 味覚や嗅覚、触った感触で素材の良さを感じようとする。	・調理実習の基礎 ・沖縄の伝統的菓子「アガラサー」等 ・沖縄の行事食「ポーポー」等 ・被服実習の基礎 ・季節の歌	・沖縄の伝統的菓子や行事食に触れる。 ・「にぎる」「たたく」「ませる」など簡単な動作で調理に参加する。
2 学期	14	(知及技) 衣生活に関連した絵カードや、絵本に触れる。	(知・技) 衣生活に関連した絵カードや、絵本に触れることができる。	・季節に応じた被服の工夫 ・季節の歌	
	16	(知及技) 簡単な調理や裁縫に必要な器具に触れようとする。 (学・人) 味覚や嗅覚、触った感触で素材の良さを感じようとする。	(知・技) 簡単な調理や裁縫に必要な器具に触れようとする。 (主学) 味覚や嗅覚、触った感触で素材の良さを感じようとする。	・調理実習の基礎 ・季節の果物を使った調理「アップルパイ」等 ・被服実習の基礎 ・食べものの歌	・旬の食材を使用することで季節感を感じることができるようにする。 ・「にぎる」「たたく」「ませる」など簡単な動作で調理に参加する。
3 学期	8	(知及技) 食生活に関連した絵カードや、絵本に触れる。	(知・技) 食生活に関連した絵カードや、絵本に触れることができる。	・いろいろな食品を知ろう ・食べものの歌	・様々な種類の絵本に触れる。
	6	(知及技) 簡単な調理や裁縫に必要な器具に触れようとする。 (学・人) 調理の過程や出来上がりに対する関心を高める。	(知・技) 簡単な調理や裁縫に必要な器具に触れようとする。 (主学) 行事を楽しむ調理を行うことを通して、調理の過程や出来上がりに対する関心を高めることができる。	・調理実習の基礎 ・行事食 ・被服実習の基礎 ・季節の歌 ・食べものの歌	・行事食に触れることで季節感を感じることができるようにする。 ・「にぎる」「たたく」「ませる」など簡単な動作で調理に参加する。
留意点 引継ぎ等		<ul style="list-style-type: none"> ・始業時の挨拶時に、着席の姿勢や学習の準備が整っていることを確認し、学習に向かう気持ちを整えさせる。 ・学習内容と関連した絵本を読み聞かせし、学習への意欲・関心を高めさせる。 ・学習内容に応じて、適宜ICT機器を活用する。 			

令和8年度 中学部 1～3年（Ⅱ課程A） 職業・家庭/職業分野 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70		神山 豊	たのしい職業科、進路学習、プログラミング

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) ・学習の中で学習環境や(室内・外、調理環境等)素材、道具の感覚を身に付け、将来必要な基盤を育てる。 ・学習を通し、生活及び働くために必要な知識、技能、態度を身に付ける。 ・道具や機械などの使い方を理解し、安全に衛生的に取り扱う技術を身に付ける。</p> <p>(思判表力) ・様々な環境や素材、道具の感覚を身に付け、喜びや、楽しむ感覚を育てる。 ・学習を通し日常生活や社会生活の基盤となる資質、態度を育てる。 ・学習を通し通し地域・社会への興味・関心を広げる。</p> <p>(学・人) ・学習の中で、将来への興味・関心を広げ、生活していく力と働く意欲を育てる。 ・社会生活の中で他者と協力するための態度を育てる。</p>
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	(知及技)学習の概要を知ることができる。働くうえでの心得を知る。 (思判表力)覚えた心得を活動内で実践していくことができる。 (学・人)これからの学習活動に興味を持つことができる。	(知・技)学習導入時の質問に対する応答により確認。 (思・判・表)学習導入時の質問に対する応答と心得の確認。 (主学)挨拶や返事、ミーティング時の発表等の声の大きさや態度。	◎オリエンテーション	・オリエンテーション：職業分野についての学習内容について説明。 ・「働くための心得」の説明：「挨拶返事をきちんとしよう」「時間を守ろう」「身なりをととのえよう」「道具は安全に丁寧に使おう」「仲間と協力しよう」「最後まで頑張ろう」を伝える。
通 年	66	(知及技)文字入力ができる。インターネットを使い検索できる。 (思判表力)パソコンを使い発表ができる。また、行事や商品の案内や必要な書類作成ができる。必要な情報を検索できる。 (学・人)パソコンに興味・関心を持つことができる。自身の学習、余暇活動に取り入れることができる。	(知・技)パソコンの基本操作ができる(電源起動、文字入力、マウスの活用等)。 (思・判・表)チラシやポスターの作成ができる。発表やプレゼンができる。パソコンを使い調べものができる。 (主学)パソコンや情報機器を学習及び余暇活動に取り入れている。	◎パソコン学習 (情報基礎)	・ワード、エクセルの使用、基本操作(文字入力、表・図・写真の挿入、レイアウト等) ・インターネット検索(調べもの練習) ・パワーポイントの使用 ・カフートクイズ
		(知及技)鍋敷きやワゴンの工程を知ることができる。 (思判表力)安全に気をつけて背金を持って任された工程を集中して取り組むことができる。(安全面) (学・人)ほうれんそうができる。	(知・技)工具や工程の名称、使い方をすることができる。 (思・判・表)工夫しながら作業工程に取り組むことができる。作業場の整理整頓(安全面) (主学)自ら挨拶できる。他者とのコミュニケーションが進んでできる。ほうれんそうができる。	◎木材加工	・鍋敷き、キャスターワゴン等を作成 ・けがき、ノコギリ引き、ペーパーがけ等 ・販売準備
		(知及技)育成物に適した生育環境が分かる。 (思判表力)灌水や草取りのタイミングがわかる。作物の収穫の時期が分かる。 (学・人)花や作物の育成に興味・関心を持つことができる。室外作業に慣れる。	(知・技)育成環境を保つことができる。 (思・判・表)育成環境を保つため、灌水や草取りをすることができる。作物の成長を観察できる。 (主学)花や作物を丁寧に育てることができる。	◎農園芸作業	・花、作物の育成 ・育成環境の整備、灌水、収穫等 ・販売(計量、袋詰め等)
		(知及技)ホウキ、モップ、ワイパー等、清掃用具の使い方が分かる。場所ごとの適した清掃方法が分かる。道具の手入れの仕方が分かる。 (思判表力)場所ごとに適した用具と方法で清掃できる。 (学・人)清掃活動に興味・関心を持つことができる。	(知・技)清掃用具を正しく使い、各場所をきれいに付けることができる。用具の手入れができる。 (思・判・表)隙間等、細かな箇所まで清掃できる。道具を工夫してきれいにできる。 (主学)自ら進んで清掃活動ができる。	◎清掃活動	・清掃道具の使い方(ホウキ、モップ、ワイパー等) ・道具の手入れ ・清掃場所ごとの清掃方法(廊下、靴箱、広場、トイレ等) ・車の洗いや方
		(知及技)接客マナー(言葉づかい、接客姿勢等)が分かる。飲食物の準備ができる。 (思判表力)お客様に丁寧に接することができる。道具を清潔に保つことができる。 (学・人)販売に興味・関心を持ち、お客とのやり取りができる。	(知・技)丁寧な接客対応ができる。飲食物の準備ができる(お茶、珈琲、茶菓子等)。 (思・判・表)接客、受注、準備、片付けの一連の流れができる。 (主学)自ら挨拶できる。他者とのコミュニケーションが進んでできる。	◎販売学習(接客)	・販売接客練習(案内、会計、言葉づかい等) ・商品の準備 ・活動環境の整備
		(知及技)ルールを守り計画通りに買い物やボランティア活動ができる。 (思判表力)校内での学習を活かし皆と協力しながら楽しく活動ができる。 (学・人)学校外の環境に慣れ学習活動ができる。ボランティア活動に参加できる。	(知・技)自ら計画ができる。計画通りに取り組める。校外の方への言葉づかい。 (思・判・表)臨機応変な対応。困ったときの行動、協力できたか。 (主学)自ら挨拶できる。他者とのコミュニケーションが進んでできる。ボランティア活動に参加できる。	◎校外学習	・買い物学習 ・ボランティア活動(学校周辺の清掃活動等)
		(知及技)働くための基本事項を覚える。 (思判表力)働くための心得を学習内で守ることができる。 (学・人)働くことに興味・関心を持つことができる。	(知・技)心得の質問に答える。 (思・判・表)学校生活で心得を活かすことができる(進んで挨拶、服装を整える等)。 (主学)自己の将来に興味・関心を持つことができる。	◎働くための心得	・働くための心得 「挨拶、返事」「時間を守る」「身なり」「道具の使い方」「協力連携」「報告、連絡、相談」「言葉づかい」等
		3 学期	2	(知及技)これまでの学習を思い出すことができる。 (思判表力)自身の学習の振り返りができ、他者の前で発表できる。 (学・人)学習を振り返り、自身の将来への活動に取り入れることができる。	(知・技)これまでの学習を思い出すことができる。 (思・判・表)学習の思い出を絵や写真、パソコン等を使い、仲間の前で発表できる。 (主学)自身の将来について興味・関心を持ち学習できる。
留意点 引継ぎ等	・学習能力や実態にあわせて学習計画を行う。 ・学習の状態、状況に応じて、グループ分けを行い学習する場合もある。また、他の学習グループと協力して学習を行う場合もある。				

令和8年度 中学部 1～3年（Ⅱ課程B） 職業・家庭/職業分野 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70		神山 豊	たのしい職業科、進路学習、プログラミング

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)・学習の中で、学習環境や(室内・外、調理環境等)素材、道具の感覚を身に付け、将来必要な基盤を育てる。 ・学習を通し、生活及び働くために必要な知識、技能、態度を身に付ける。 ・道具や機械などの使い方を理解し、安全に衛生的に取り扱う技術を身に付ける。 (思判表力)・様々な環境や素材、道具の感覚を身に付け、喜びや、楽しむ感覚を育てる。 ・学習を通し日常生活や社会生活の基盤となる資質、態度を育てる。 ・学習を通し通し地域・社会への興味・関心を広げる。 (学・人)・学習の中で、将来への興味・関心を広げ、生活していく力と働く意欲を育てる。 ・社会生活の中で他者と協力するための態度を育てる。		
------	--	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	(知及技)学習の概要を知ることができる。働くうえで的心得を知る。 (思判表力)覚えた心得を活動内で実践していくことができる。 (学・人)これからの学習活動に興味を持つことができる。	(知・技)学習導入時の質問に対する応答により確認。 (思・判・表)学習導入時の質問に対する応答と心得の確認。 (主学)挨拶や返事、ミーティング時の発表等の声の大きさや態度。	◎オリエンテーション	・オリエンテーション：職業分野についての学習内容について説明。 ・「働くための心得」の説明：「挨拶返事をきちんとしよう」「時間を守ろう」「身なりをととのえよう」「道具は安全に丁寧に使おう」「仲間と協力しよう」「最後まで頑張ろう」を伝える。
通 年	66	(知及技)文字入力ができる。インターネットを使い検索できる。 (思判表力)パソコンを使い発表ができる。また、行事や商品の案内や必要な書類作成ができる。必要な情報を検索できる。 (学・人)パソコンに興味・関心を持つことができる。自身の学習、余暇活動に取り入れることができる。	(知・技)パソコンの基本操作ができる(電源起動、文字入力、マウスの活用等)。 (思・判・表)チラシやポスターの作成ができる。発表やプレゼンができる。パソコンを使い調べものができる。 (主学)パソコンや情報機器を学習及び余暇活動に取り入れている。	◎パソコン学習(情報基礎)	・ワード、エクセルの使用、基本操作(文字入力、表・図・写真の挿入、レイアウト等) ・インターネット検索(調べもの練習) ・パワーポイントの使用 ・カフトクイズ
		(知及技)鍋敷きやワゴンの工程を知ることができる。 (思判表力)安全に気をつけて背金を持って任された工程を集中して取り組むことができる。(安全面) (学・人)ほうれんそうができる。	(知・技)工具や工程の名称、使い方を知ることができる。 (思・判・表)工夫しながら作業工程に取り組むことができる。作業場の整理整頓(安全面) (主学)自ら挨拶できる。他者とのコミュニケーションが進んでできる。ほうれんそうができる。	◎木材加工	・鍋敷き、キャスターワゴン等を作成 ・けがき、ノコギリ引き、ペーパーがけ等 ・販売準備
		(知及技)育成物に適した生育環境が分かる。 (思判表力)灌水や草取りのタイミングがわかる。作物の収穫の時期が分かる。 (学・人)花や作物の育成に興味・関心を持つことができる。室外作業に慣れる。	(知・技)育成環境を保つことができる。 (思・判・表)育成環境を保つため、灌水や草取りをすることができる。作物の成長を観察できる。 (主学)花や作物を丁寧に育てることができる。	◎農園芸作業	・花、作物の育成 ・育成環境の整備、灌水、収穫等 ・販売(計量、袋詰め等)
		(知及技)ホウキ、モップ、ワイパー等、清掃用具の使い方が分かる。場所ごとの適した清掃方法が分かる。道具の手入れの仕方が分かる。 (思判表力)場所ごとに適した用具と方法で清掃できる。 (学・人)清掃活動に興味・関心を持つことができる。	(知・技)清掃用具を正しく使い、各場所をきれい片付けることができる。用具の手入れができる。 (思・判・表)隙間等、細かな箇所まで清掃できる。道具を工夫してきれいにできる。 (主学)自ら進んで清掃活動ができる。	◎清掃活動	・清掃道具の使い方(ホウキ、モップ、ワイパー等) ・道具の手入れ ・清掃場所ごとの清掃方法(廊下、靴箱、広場、トイレ等) ・車の洗いや
		(知及技)接客マナー(言葉づかい、接客姿勢等)が分かる。飲食物の準備ができる。 (思判表力)お客様に丁寧に接客することができる。道具を清潔に保つことができる。 (学・人)販売に興味・関心を持ち、お客とのやり取りができる。	(知・技)丁寧な接客対応ができる。飲食物の準備ができる(お茶、珈琲、茶菓子等)。 (思・判・表)接客、受注、準備、片付けの一連の流れができる。 (主学)自ら挨拶できる。他者とのコミュニケーションが進んでできる。	◎販売学習(接客)	・販売接客練習(案内、会計、言葉づかい等) ・商品の準備 ・活動環境の整備
		(知及技)ルールを守り計画通りに買い物やボランティア活動ができる。 (思判表力)校内での学習を活かし皆と協力しながら楽しく活動ができる。 (学・人)学校外の環境に慣れ学習活動ができる。ボランティア活動に参加できる。	(知・技)自ら計画ができる。計画通りに取り組める。校外の方への言葉づかい。 (思・判・表)臨機応変な対応。困ったときの行動、協力ができたか。 (主学)自ら挨拶できる。他者とのコミュニケーションが進んでできる。ボランティア活動に参加できる。	◎校外学習	・買い物学習 ・ボランティア活動(学校周辺の清掃活動等)
		(知及技)働くための基本事項を覚える。 (思判表力)働くための心得を学習内で守ることができる。 (学・人)働くことに興味・関心を持つことができる。	(知・技)心得の質問に答える。 (思・判・表)学校生活で心得を活かすことができる(進んで挨拶、服装を整える等)。 (主学)自己の将来に興味・関心を持つことができる。	◎働くための心得	・働くための心得 「挨拶、返事」「時間を守る」「身なり」「道具の使い方」「協力連携」「報告、連絡、相談」「言葉づかい」等
3 学期	2	(知及技)これまでの学習を思い出すことができる。 (思判表力)自身の学習の振り返りができ、他者の前で発表できる。 (学・人)学習を振り返り、自身の将来への活動に取り入れることができる。	(知・技)これまでの学習を思い出すことができる。 (思・判・表)学習の思い出を絵や写真、パソコン等を使い、仲間の前で発表できる。 (主学)自身の将来について興味・関心を持ち学習できる。	◎まとめ	・学習の振り返り ・発表
留意点 引継ぎ等	・体験的学習を中心に生徒の実態にあわせ活動計画を行う。 ・学習の状態、状況に応じて、他の学習グループと協力して学習を行う場合もある。				

令和 8年度 中学部 1～3年（Ⅱ課程Aグループ） 英語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
35		金城 翔太	Genki English すきるまドリル Baby bus Maple learnig

年間目標	<p>(知及技) 英語を用いた活動を通して、身近な生活で見聞きする英語に興味や関心をもち、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。</p> <p>(思判表力) 身近で簡単な事柄について、英語で聞いたり話したりして表現力を身に付ける。</p> <p>(学・人) 英語を通して、その言葉の背景にある文化の多様性を知り、意欲的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。</p>		
------	---	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	<p>(知及技) あいさつの英語表現を理解し、使うことができる。 英語の音声を聞き、発音やアクセントを真似て発音することができる。</p> <p>(知及技) アルファベットを識別することができ、正しい順番がわかる。</p> <p>(思判表力) 自分の名前や好みなどを簡単な語や基本的な表現を用いて表現することができる。</p> <p>(学・人) 英語を話す楽しさを味わい、意欲的に外国語に親しんでいる。</p>	<p>(知・技) 外国語を用いてあいさつや簡単なやりとりをしようとしている。</p> <p>(知・技) アルファベットの音と形を覚えている。アルファベットを読んだり書いたりしようとしている。</p> <p>(思・判・表) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて情報や考えなどを表現しようとしている。</p> <p>(主学) 外国語に親しみをもち、意欲的に外国語を使う姿勢が見られる。</p>	<p>あいさつ</p> <p>自己紹介</p> <p>日付・曜日 数字1～10</p> <p>一般動詞</p> <p>アルファベット</p>	<p>・あいさつの英語表現と、各国の「こんにちは」をその国の言葉で言おう</p> <p>・自己紹介プリントを用いて英語で自己紹介をしよう</p> <p>・日付と曜日の確認、自分の誕生月を英語で言おう</p> <p>・ジェスチャーゲームを通して一般動詞を覚えよう</p> <p>・アルファベットの歌を歌おう</p> <p>・プリント学習で理解を深めよう</p>
		<p>(知及技) 外国の文化や行事に触れ、関係する英語表現を理解することができる。</p> <p>(思判表力) 声の抑揚や表情を工夫して、場面に合わせて英語でリアクションすることができる。</p> <p>(学・人) 外国の行事に触れ、ゲームやクイズを通してすすんで理解を深めようとしている。</p>	<p>(知・技) ハロウィンやクリスマス等の外国の文化や行事について理解し、関係する英語表現や英単語を覚えて使おうとしている。</p> <p>(思・判・表) 表情や身振りを工夫して、場面から状況や心情を考えて英語でリアクションしようとしている。</p> <p>(主学) ハロウィンやクリスマス等の外国の文化や行事に触れ、意欲を持って活動に参加しようとしている。</p>	<p>ハロウィン</p> <p>クリスマス</p> <p>リアクション</p>	<p>・ハロウィンの起源と日本との違いを知ろう</p> <p>・世界のクリスマスの過ごし方、ワードゲーム</p> <p>・リアクション</p>
		<p>(知及技) 新年のあいさつや、関連する単語を理解し、使うことができる。</p> <p>(知及技) 飲食店で用いる英語表現を使い、自分の欲しいものを注文したり、店員として注文に応じたりすることができる。</p> <p>(思・判・表) 身近で簡単な英語表現に慣れ親しみ、相手の言葉や行動を受け止めながら、英語でやり取りをしようとする態度を養う。</p> <p>(学・人) 学習した英語表現を用いて意欲的に外国語を話すことができる。1年間で学習した内容を振り返ることができる。</p>	<p>(知・技) 新年のあいさつや、関連する単語を理解し、使おうとしている。</p> <p>(知・技) 飲食店で使われる英語表現がわかり、それらを用いてペアでやりとりしようとしている。</p> <p>(思・判・表) 相手の言葉や行動に気付き、場面に合った簡単な英語表現や身振り・表情で応答しようとしている。</p> <p>(主学) 相手の発言をよく聞こうとしたり自分の考えを伝えようとしている。</p>	<p>新年のカウントダウン</p> <p>ロールプレイ(カフェ)</p> <p>1年間の総復習</p>	<p>・カウントダウンをして新年のお祝いをしよう</p> <p>・カフェの店員やお客さんになって英語でやりとりをしよう</p> <p>・学習した単語や表現を復習しよう</p>
留意点 引継ぎ等	<p>・始業の挨拶時に、着席の姿勢や学習道具の準備が整っていることを確認し、学習に向かう気持ちを整えさせる。</p> <p>・季節行事や学校行事などの身近な話題を挙げ、学習内容との関係性を示しながら、学習への関心・意欲を高めさせる。</p> <p>・予め学習目標と活動の流れ、本時の着地点を示すことで、学習活動に見通しを持たせる。</p> <p>・体を動かしたり、声を出したりする言葉遊び・ゲーム・発声練習を取り入れ、学習活動にメリハリをつける。</p> <p>・個々の活動の進捗に合わせて、個別の支援や発展的な課題の提示を行う。</p>				

令和 8年度 中学部 1～3年 (II 課程Bグループ) 英語科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
35		金城 翔太	Genki English The singing walrus すきまドリル Baby bus Maple leaf learnig

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 外国語の音声や歌を聞いて反応したり、楽しんだりする。 簡単な英語表現を発声したり、問いかけに答えたりする。 (思判表力) 外国語で話しかけられた際に反応したり注目したりすることができる。 外国語の意味に合わせて体を動かすことができる。 (学・人) 外国の映像に興味を示したり、外国の文化にすすんで触れようとしている。
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 他者からの外国語での呼びかけに反応し、 注意を向けることができる。	(知・技) 他者からの外国語での呼びかけに反 応し、注意を向けようとしている。	あいさつ ウォームアップ	・あいさつの歌に合わせて身体を動かす。 ・簡単な動詞を聞いて身体を動かす。
		(知及技) 外国語の音声や音楽を聞いて外国語に慣 れ親しむ。	(知・技) 外国語の音声や音楽を聞いて外国語 に慣れ親しもうとしている。	自己紹介	・”I’m～.”に合わせて胸を叩いたり、自分を指し たりして自己紹介をする。
		(知及技) 英語のリズムやアクセントを真似して発声す ることができる。	(知・技) 英語のリズムやアクセントを真似して 発声しようとしている。	ボディーパーツ	・身体の部位を触って英語表現と結びつける。 ・”Open””Close”の歌に合わせて身体を動か す。
2 学期	15	(知及技) 外国語が指す物の意味を理解している。	(知・技) 外国語が指す物の意味を理解してい る。	カラー	・色紙を掴んでとり、”I like ～.”と好きな色を言 う。
		(思判表力) 簡単な動作の英語表現に触れ、体を動かして 表現することができる。	(思・判・表) 簡単な動作の英語表現に触れ、体を 動かして表現しようとしている。	クラスルームイング リッシュ	・教室にある物の英語表現を学習し、英語を聞いて 触れたり探したりする。
3 学期	8	(思判表力) 身近で簡単な英語表現について、注目して 見聞きすることができる。	(思・判・表) 身近で簡単な英語表現について、注目 して見聞きしようとしている。	リアクション	・様々な感嘆表現を用いて、表情や身振りを工夫 しながらリアクションする。
		(学・人) 英語の歌や映像に興味を持ち、外国語に親 しんでいる。	(主学) 英語の歌や映像に興味を持ち、外国語 に親しんでいる。	ハロウィン	・ハロウィンの仮装をしてパーティーをする。
		(学・人) 外国の風景や映像に注目し、雰囲気味わ おうとしている。	(主学) 外国の風景や映像に注目し、雰囲気 味わおうとしている。	クリスマス	・スタンプや指、ちぎり絵などを用いて家族にクリ スマスカードを作成する
				カウントダウン	・世界の新年のカウントダウンと花火を見て外国の 雰囲気味わう。
				英語でじゃんけん	・じゃんけんの札をつかんで英語でジャンケンをし よう

留意点 引継ぎ等	<ul style="list-style-type: none"> ・始業の挨拶時に、着席の姿勢や学習道具の準備が整っていることを確認し、学習に向かう気持ちを整えさせる。 ・季節行事や学校行事などの身近な話題を挙げ、学習内容との関係性を示しながら、学習への関心・意欲を高めさせる。 ・予め学習目標と活動の流れ、本時の着地点を示すことで、学習活動に見通しを持たせる。 ・体を動かしたり、声を出したりする言葉遊び・ゲーム・発声練習を取り入れ、学習活動にメリハリをつける。 ・個々の活動の進捗に合わせて、個別の支援や発展的な課題の提示を行う。 ・五感を刺激する活動を多く取り入れる。
-------------	---

令和8年度 中学部 1,2,3年(Ⅱ課程ABグループ)総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
1/35		高屋 沙織	なし/ワークシート 視覚的教材(写真、PPなど) ICT機器

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題を探究することができる。 (思判表力)実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 (学・人)探究的な学習に主体的・協働的に取り組み、互いのよさを生かしながら積極的に社会に参画しようとする。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	(知及技)体験的な活動を通して、課題の解決に必要な知識及び技能を身につける。 (思判表力)身近な生活の中にある課題に気付き、自分なりに考えたり、それをまとめて表現したりできるようにする。	(知・技)探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題を探究することができる。 (思・判・表)実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。	【総合開き】 【教室掲示物作成】 【挨拶スタンダード】 【避難訓練】 【交流・共同学習】 【クリーンデー】 【職場見学、職場体験】 【キャリアパスポート】	・係表や時間割表などを作成し、掲示する。 ・挨拶スタンダードを理解し、日常生活で活かせるようにする。 ・防災時の基礎知識や避難方法を理解する。 ・同年代の友達と交流を深める。 ・清掃用具を上手に使うことができる。 ・任された清掃場所をきれいにすることができる。 ・場所がかわっても代表らしく挨拶や清掃等ができる。 ・キャリア教育でこれから求められる力を理解し、日々の学習や生活にどのように活かすかを考える。
2学期	15	(学・人)主体的・協働的に取り組む中で、互いの良さに気付き、自ら積極的に他者と関わり合って社会に参画しようとする態度を養う。	(主学)探究的な学習に主体的・協働的に取り組み、互いのよさを生かしながら積極的に社会に参画しようとする。	【宿泊学習の事前学習】 【挨拶スタンダード】 【クリーンデー】 【学部集会】 【職場見学、職場体験】 【キャリアパスポート】	・進級進学に向けての意識を高め、自分の将来について考えるきっかけにする。 ・就業への興味や関心を持ち、意欲を育てる。 ・宿泊学習の日程について見通しをもつ。 ・仲間と協力し最後まで活動に参加することができる。 ・各学期の目標をたて、振り返りを行い達成感を味わったり、自己の課題に気付く。 ・興味のある題材を選び、意欲的に活動に取り組むことができる。
3学期	7			【挨拶スタンダード】 【校外学習】 【職場見学、職場体験】 【交流共同学習】 【クリーンデー】 【キャリアパスポート】	
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部1年(Ⅱ課程AB) 特別の教科 道徳 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
1/35		神山 豊	私たちの未来 未来の私たち(開隆堂) 生きる力(日本文教出版) マンガでわかるよのなかのルール(小学館)

年間目標	・学校の教育活動全体を通し、それぞれの具体的な場において適切な指導を行い、明るく豊かな道徳的心情、実践意欲と態度を育てる。			
------	---	--	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	13	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や教師に対する親しみの気持ちを伝えることができる。 ・学校生活で楽しみにしていることを思い起こし、発表する。 ・日常生活の中で感謝の気持ちを素直に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や教師に対する親しみの気持ちを伝えようとしている。 ・学校生活で楽しみにしていることを思い起こし、発表している。 ・日常生活の中で感謝の気持ちを素直に表現しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・礼儀、作法 ・学校生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・名前を呼ばれたら「はい」と返事する。 ・友達や教師に対し、場に応じて挨拶をする。 ・学校にはたくさんの楽しさがあることに気づく ・自分の成長を支えてくれる人々について考え、誰にどんな「ありがとう」を伝えたいかを発表する。
	15	<ul style="list-style-type: none"> ・決まりの必要性に気づき、共有する場所や物を大切にしようとする。 ・自分の健康に気をつけ、健全な態度で活動することができる。 ・友達と仲良くすること、助け合うことについて考える。 ・物事を最後まできちんとやり遂げる。 ・自分が生きているからこそできるあたりまえのことを喜び命を大切にしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・決まりの必要性に気づき、共有する場所や物を大切にしようとしている。 ・自分の健康に気をつけ、健全な態度で活動しようとしている。 ・友達と仲良くすること、助け合うことについて考えようとしている。 ・物事を最後まできちんとやり遂げようとしている。 ・自分が生きているからこそできるあたりまえのことを喜び命を大切にしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・決まり ・健康安全 ・友達 ・向上心 ・生命の尊重 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活を通して、基本的な決まりを守る。様々な状況を想定して決まりや約束を守ることを考える。 ・怪我をした時や、気分が悪くなった時は、教師にその状態を伝える。 ・危険な場所では遊ばない。 ・集団生活を描いた絵やお話を通して仲良くしたり助け合うことの良さや大切さを考える。 ・中途半端で終わらず、最後までやりぬくことによって、達成感を味わう。 ・「息をする」「食べる」「遊ぶ」など生きていることで感じられる喜びを考え話合う。 ・食育を通して命について関心を持つ。
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを思いやり、優しく接しようとする。 ・働くことの大切さを知る。 ・自分の事は自分でやろうとする意欲を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを思いやり、優しく接しようとしている。 ・働くことの大切さを知ろうとしている。 ・自分の事は自分でやろうとする意欲を持とうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・優しさ ・勤労、役割 ・整理整頓 	<ul style="list-style-type: none"> ・意地悪をしてしまう気持ち、親切にしたいという気持ちを比較し、人に親切にすることの良さや難しさをについて考える。 ・自分の役割分担に対しては、責任を持って最後までやり遂げる。 ・自分の持ち物がわかり、所定の場所に片付ける。 ・汚れに気がつき、清潔にする。 ・日常生活の中でできていることは、進んで行く。
留意点 引継ぎ等	①教育活動全体で指導し、家庭や地域社会との連携の下に取り組む。 ②各教科との関連を計りながら取り組む				

令和8年度 中学部2年（Ⅱ課程AB） 特別の教科 道徳 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1 / 3 5		牛井 潤 浩之	私たちの未来 未来の私たち（開隆堂） 生きる力（日本文教出版）

年間目標	・学校の教育活動全体を通し、それぞれの具体的な場において適切な指導を行い、明るく豊かな道徳的心情、実践意欲と態度を育てる。			
------	---	--	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	13	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や教師に対する親しみの気持ちを伝えることができる。 ・学校生活で楽しみにしていることを思い起こす、発表する。 ・日常生活の中で感謝の気持ちを素直に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や教師に対する親しみの気持ちを伝えようとしている。 ・学校生活で楽しみにしていることを思い起こす、発表している。 ・日常生活の中で感謝の気持ちを素直に表現しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・礼儀、作法 ・学校生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・名前を呼ばれたら「はい」と返事する。 ・友達や教師に対し、場に応じて挨拶をする。 ・学校にはたくさんの楽しさがあることに気づく ・自分の成長を支えてくれる人々について考え、誰にどんな「ありがとう」を伝えたいかを発表する。
	15	<ul style="list-style-type: none"> ・決まりの必要性に気づき、共有する場所や物を大切にしようとする。 ・自分の健康に気をつけ、健全な態度で活動することができる。 ・友達と仲良くすること、助け合うことについて考える。 ・物事を最後まできちんとやり遂げる。 ・自分が生きているからこそできるあたりまえのことを喜び命を大切にしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・決まりの必要性に気づき、共有する場所や物を大切にしようとしている。 ・自分の健康に気をつけ、健全な態度で活動しようとしている。 ・友達と仲良くすること、助け合うことについて考えようとしている。 ・物事を最後まできちんとやり遂げようとしている。 ・自分が生きているからこそできるあたりまえのことを喜び命を大切にしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・決まり ・健康安全 ・友達 ・向上心 ・生命の尊重 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活を通して、基本的な決まりを守る。様々な状況を想定して決まりや約束を守ることの意味を考える。 ・怪我をした時や、気分が悪くなった時は、教師にその状態を伝える。 ・危険な場所では遊ばない。 ・集団生活を描いた絵やお話を通して仲良くしたり助け合うことの良さや大切さを考える。 ・中途半端で終わらず、最後までやりぬくことによって、達成感を味わう。 ・「息をする」「食べる」「遊ぶ」など生きていることで感じられる喜びを考え話合う。 ・食育を通して命について関心を持つ。
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを思いやり、優しく接しようとする。 ・働くことの大切さを知る。 ・自分の事は自分でやろうとする意欲を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを思いやり、優しく接しようとしている。 ・働くことの大切さを知ろうとしている。 ・自分の事は自分でやろうとする意欲を持とうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・優しき ・勤労、役割 ・整理整頓 	<ul style="list-style-type: none"> ・意地悪をしてしまう気持ち、親切にしたいという気持ちを比較し、人に親切にすることの良さや難しさについて考える。 ・自分の役割分担に対しては、責任を持って最後までやり遂げる。 ・自分の持ち物がわかり、所定の場所に片付ける。 ・汚れに気がつき、清潔にする。 ・日常生活の中でできていることは、進んで行う。

留意点 引継ぎ等					
-------------	--	--	--	--	--

令和8年度 中学部3年（Ⅱ課程AB） 特別の教科 道徳 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35		多宇円香	私たちの未来 未来の私たち（開隆堂） 生きる力（日本文教出版）

年間目標	・学校の教育活動全体を通し、それぞれの具体的な場において適切な指導を行い、明るく豊かな道徳的心情、実践意欲と態度を育てる。
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	13	・友達や教師に対する親しみの気持ちを伝えることができる。 ・学校生活で楽しみにしていることを思い起こす、発表する。 ・日常生活の中で感謝の気持ちを素直に表現できる。	・友達や教師に対する親しみの気持ちを伝えようとしている。 ・学校生活で楽しみにしていることを思い起こす、発表している。 ・日常生活の中で感謝の気持ちを素直に表現しようとしている。	・あいさつ ・礼儀、作法 ・学校生活	・名前を呼ばれたら「はい」と返事する。 ・友達や教師に対し、場に応じて挨拶をする。 ・学校にはたくさんの楽しさがあることに気づく ・自分の成長を支えてくれる人々について考え、誰にどんな「ありがとう」を伝えたいかを発表する。
	15	・決まりの必要性に気づき、共有する場所や物を大切にしようとする。 ・自分の健康に気をつけ、健全な態度で活動することができる。 ・友達と仲良くすること、助け合うことについて考える。 ・物事を最後まできちんとやり遂げる。 ・自分が生きているからこそできるあたりまえのことを喜び命を大切にしようとする。	・決まりの必要性に気づき、共有する場所や物を大切にしようとしている。 ・自分の健康に気をつけ、健全な態度で活動しようとしている。 ・友達と仲良くすること、助け合うことについて考えようとしている。 ・物事を最後まできちんとやり遂げようとしている。 ・自分が生きているからこそできるあたりまえのことを喜び命を大切にしようとしている。	・決まり ・健康安全 ・友達 ・向上心 ・生命の尊重	・集団生活を通して、基本的な決まりを守る。様々な状況を想定して決まりや約束を守ることの意味を考える。 ・怪我をした時や、気分が悪くなった時は、教師にその状態を伝える。 ・危険な場所では遊ばない。 ・集団生活を描いた絵やお話を通して仲良くしたり助け合うことの良さや大切さを考える。 ・中途半端で終わらず、最後までやりぬくことによって、達成感を味わう。 ・「息をする」「食べる」「遊ぶ」など生きていることで感じられる喜びを考え話合う。 ・食育を通して命について関心を持つ。
	7	・相手のことを思いやり、優しく接しようとする。 ・働くことの大切さを知る。 ・自分の事は自分でやろうとする意欲を持つ。	・相手のことを思いやり、優しく接しようとしている。 ・働くことの大切さを知ろうとしている。 ・自分の事は自分でやろうとする意欲を持とうとしている。	・優しさ ・勤労、役割 ・整理整頓	・意地悪をしてしまう気持ち、親切にしたいという気持ちを比較し、人に親切にすることの良さや難しさをについて考える。 ・自分の役割分担に対しては、責任を持って最後までやり遂げる。 ・自分の持ち物がわかり、所定の場所に片付ける。 ・汚れに気がつき、清潔にする。 ・日常生活の中でできていることは、進んで行う。

留意点 引継ぎ等	
-------------	--

令和8年度 中学部1～3年（Ⅱ課程AB） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者名	教科書／副教材
1／35	1年(MK、TK) 2年(TK、NS、YH、MS、TK、KR、SK、MR) 3年(SA、UM、SR、MM、TH)	1年：多宇円香 2年：高屋沙織 3年：漢那武司	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		<p>(知及技) 多様な他者と協議する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。</p> <p>(学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</p>		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
1 学期	13	<p>【学級活動】</p> <p>(知及技) 学級における集団活動や自律的な生活を送ることの意義を理解し、そのために必要となることを身に付ける。</p> <p>(思判表力) 学級や自己の生活、人間関係をよりよくするため課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりできる。</p>	<p>【学級活動】</p> <p>(知・技) 学級における集団活動や自律的な生活を送ることの意義を理解し、そのために必要となることを理解し身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 学級や自己の生活、人間関係をよりよくするため課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりして実践している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就任式、始業式、入学式、終業式 ・学級開き、学年開き ・自己紹介、学級目標、個人目標、係活動 ・キャリアパスポート ・幼児児童生徒会集会 ・幼児児童生徒総会 ・身体測定 ・内科検診、歯科検診、心電図検査 ・地震火災津波避難訓練 ・不審者対策訓練 ・1学期のまとめ、振り返り ・夏休みの過ごし方
2 学期	15	<p>(学・人) 人間関係をよりよく形成するとともに、将来の生き方を描き、その実現に向けて、日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。</p> <p>【生徒会活動】</p> <p>(知及技) 生徒会やその中に置かれる委員会などの異年齢により構成される自治的組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要なことを理解し行動の仕方を身に付ける。</p> <p>(思判表力) 生徒会において、学校全体の生活をよりよくするための課題を見だし、その解決のために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりできる。</p>	<p>(主学) 人間関係をよりよく形成するとともに、将来の生き方を描き、その実現に向けて、日常生活の向上を図ろうとしている。</p> <p>【生徒会活動】</p> <p>(知・技) 生徒会やその中に置かれる委員会などの異年齢により構成される自治的組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要なことを理解し行動の仕方を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 生徒会において、学校全体の生活をよりよくするための課題を見だし、その解決のために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりして実践している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式、終業式 ・夏休みの思い出発表 ・個人目標、係活動 ・キャリアパスポート ・幼児児童生徒会集会 ・火災避難訓練 ・宿泊学習 ・八重山地区中学校総合文化祭（出品・上映） ・2学期のまとめ、振り返り ・冬休みの過ごし方
3 学期	7	<p>(学・人) 多様な他者と協働し、学校や地域社会における生活をよりよくしようとする態度を養う。</p> <p>【学校行事】</p> <p>(知及技) 各学校行事の意義について理解するとともに、行事における活動のために必要なことを理解し、規律ある行動の仕方や習慣を身に付ける。</p> <p>(思判表力) 学校行事を通して集団や自己の生活上の課題を結びつけ、人間としての生き方についての考えを深め、場面に応じた適切な判断をしたり、人間関係や集団をよりよくしたりできる。</p> <p>(学・人) 集団や社会の形成者としての自覚を持って多様な他者を尊重しながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくろうとする態度を養う。</p>	<p>(主学) 多様な他者と協働し、学校や地域社会における生活をよりよくしようとしている。</p> <p>【学校行事】</p> <p>(知・技) 各学校行事の意義について理解するとともに、行事における活動のために必要なことを理解し、規律ある行動の仕方や習慣を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 学校行事を通して集団や自己の生活上の課題を結びつけ、人間としての生き方についての考えを深め、場面に応じた適切な判断をしたり、人間関係や集団をよりよくしたりして実践している。</p> <p>(主学) 集団や社会の形成者としての自覚を持って多様な他者を尊重しながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくろうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式、卒業式、修了式、離任式 ・新年の抱負 ・個人目標、係活動 ・八特祭 ・幼児児童生徒会選挙 ・お別れ遠足 ・1年間のまとめ、キャリアパスポート ・進級に向けて
留意点 引継ぎ等				